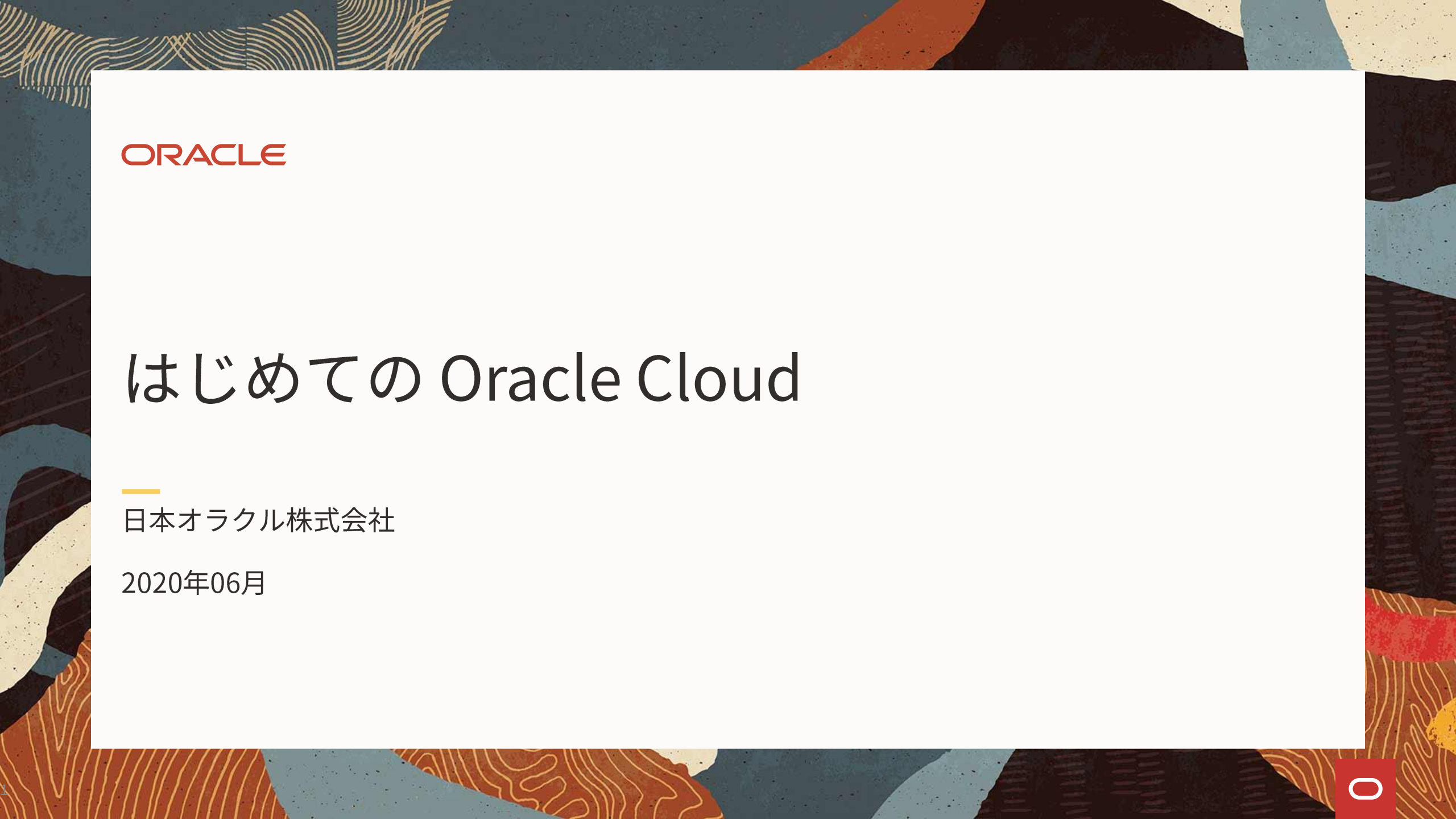




ORACLE

はじめての Oracle Cloud

日本オラクル株式会社

2020年06月

Safe harbor statement

以下の事項は、弊社の一般的な製品の方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。

以下の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することをコミットメント（確約）するものではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないで下さい。

オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

はじめての Oracle Cloud

- Oracle Cloud とは
- サービスの開始
- 使ってみよう Oracle Cloud Infrastructure
- Oracle Cloud PaaS & IaaS サービス・ポリシー
- 課金について押さえておきたいポイント
- よくあるお問い合わせ
- Oracle Cloud 参考資料ご案内

本資料の内容は2020年6月9日時点の情報に基づいて構成されています。
内容は予告なく変更されることがありますのでご注意ください。
また本章の説明と一般公開された各種文書の間には矛盾がある場合は公開文書を正とします。

Oracle Cloud とは

Oracle Cloud : PaaS と IaaS

SaaS



ERP/EPM



SCM



HCM



CX

PaaS

Autonomous Database
(自律型データベースクラウド)



Autonomous
Transaction
Processing

Autonomous
Data
Warehouse



アナリティクス



コンテンツ管理



セキュリティ・IT管理



インテグレーション



データ管理



アプリケーション開発

IaaS

Oracle Cloud Infrastructure (第2世代IaaS)



仮想マシン

GPU/HPC

ストレージ

コンテナ

ネットワーク

セキュリティ

【注目トピック1】 Generation 2 Cloud- 大阪(2/3)リージョン新設

ニュース

日本オラクル、「Oracle Cloud」の大阪リージョンを開設

三柳 英樹 2020年2月4日 06:00

ツイート リスト

B! 0

Pocket 5

いいね! 2

シェア

日本オラクル株式会社は3日、パブリッククラウド「Oracle Cloud」の次世代サービス「Oracle Generation 2 Cloud(以下、Gen 2 Cloud)」について、国内2拠点目となる大阪リージョンを新たに開設し、運用を開始したと発表した。

大阪リージョンは、2019年5月に開設した東京リージョンに次ぐ国内2拠点目のリージョンとなり、「Oracle Autonomous Database」から「Oracle Cloud Applications」まで、すべての「Oracle Cloud」のサービスを提供する。これにより顧客は、DR(災害復旧)対策や、国内にある複数のリージョンでアプリケーションを展開でき、海外に機密データをホストする必要がなくなるため、コンプライアンス準拠に対応できるとしている。

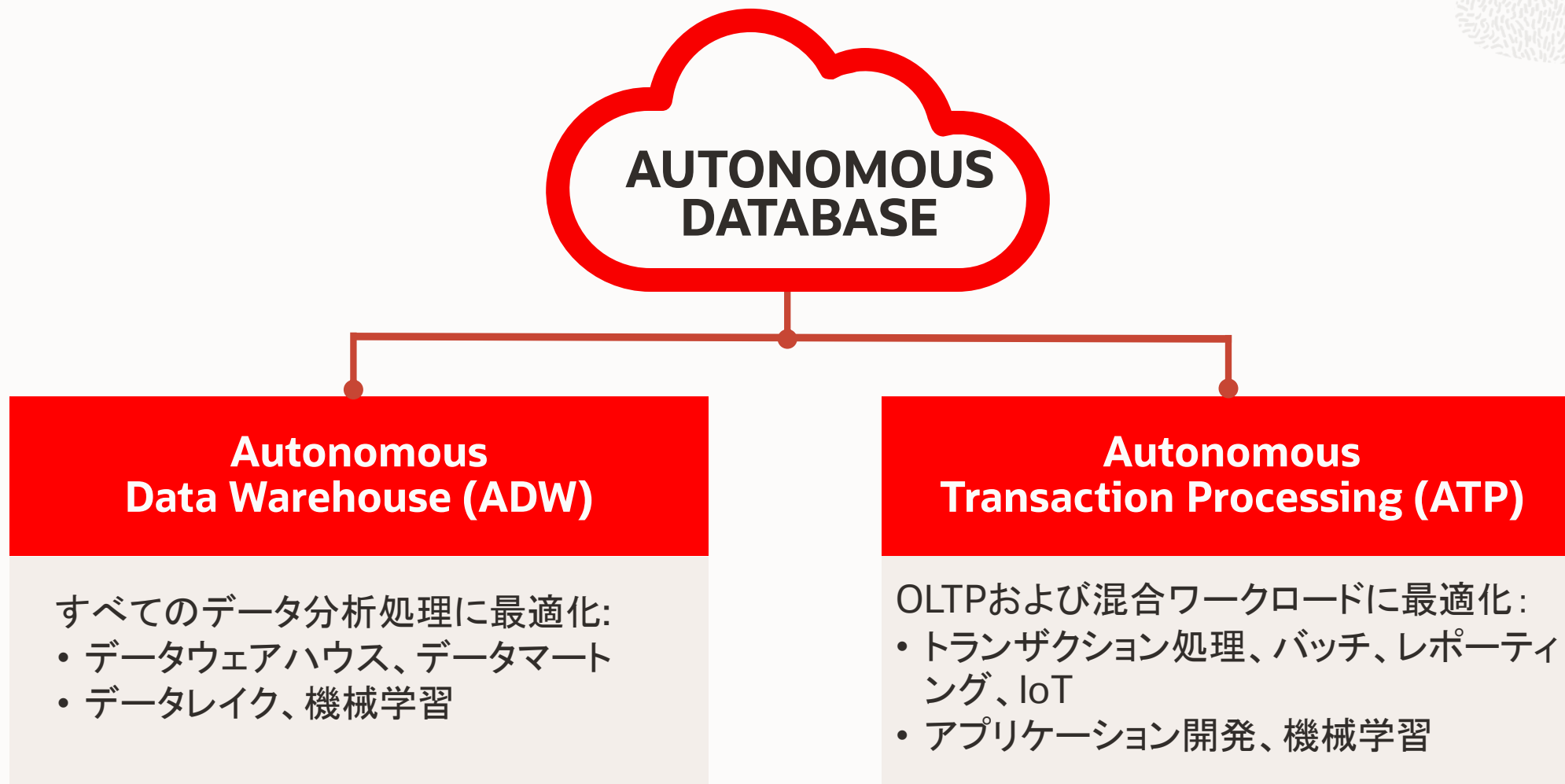
大阪リージョンの開設に合わせて、株式会社エディオン、ソフトマックス株式会社、ファイテン株式会社が、各社のシステムのクラウド化にOracle Cloudを採用することを表明している。



引用:クラウド Watch Webサイト

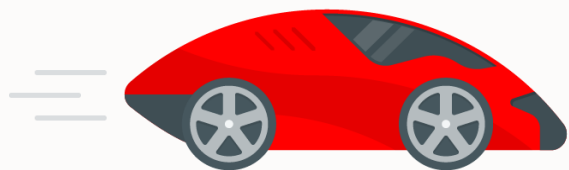
<https://cloud.watch.impress.co.jp/docs/news/1233022.html>

【注目トピック2】 Autonomous Database - ワークロードに最適化



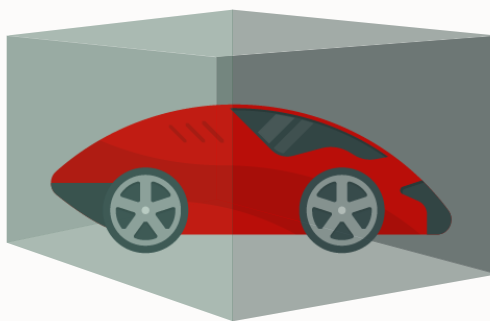
Autonomous Database

世界で初めての自律型データベース



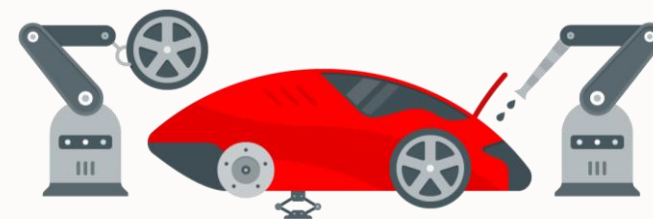
Self-Driving (自己稼働)

管理・拡張・監視
・チューニングの自動化



Self-Securing (自己保護)

外部からの攻撃や悪意のある内部ユーザからの防御



Self-Repairing (自己修復)

計画停止を含む全ての
ダウンタイムからの保護

【注目トピック3】 Microsoft Azureとの連携

Microsoft Azureとのクラウドの相互接続開始

戦略的提携によりAzureとOracle Cloudとの直接的な相互接続を実現

ORACLE®

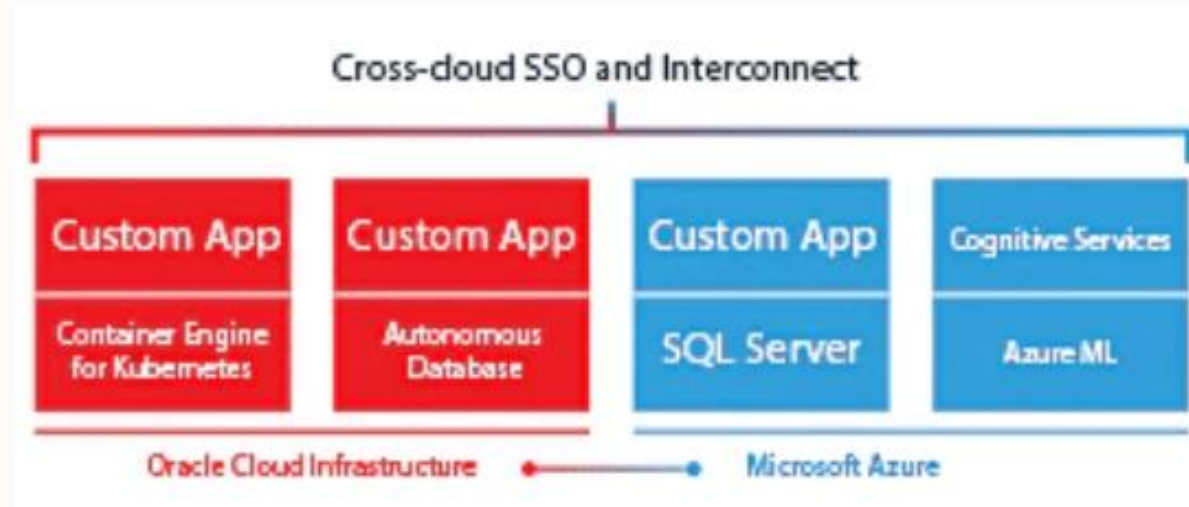
+

Microsoft
Azure

- オラクルとマイクロソフトは、両社クラウドの相互連携に関するパートナーシップを発表しました。これにより、お客様はMicrosoft AzureとOracle Cloudの間でミッションクリティカルなエンタープライズワークロードを移行して実行できます
- シームレスにMicrosoft AzureとOracle Cloudが接続できるようになりました
- このパートナーシップは、お客様に高度に最適化された、安全で統一されたクラウドエクスペリエンスを提供します
- オラクルとマイクロソフトだけが、オンプレミス・アプリケーションの迅速な移行と、より広範なツールやエコシステムを活用することが可能な「コネクテッドクラウド」を提供しています

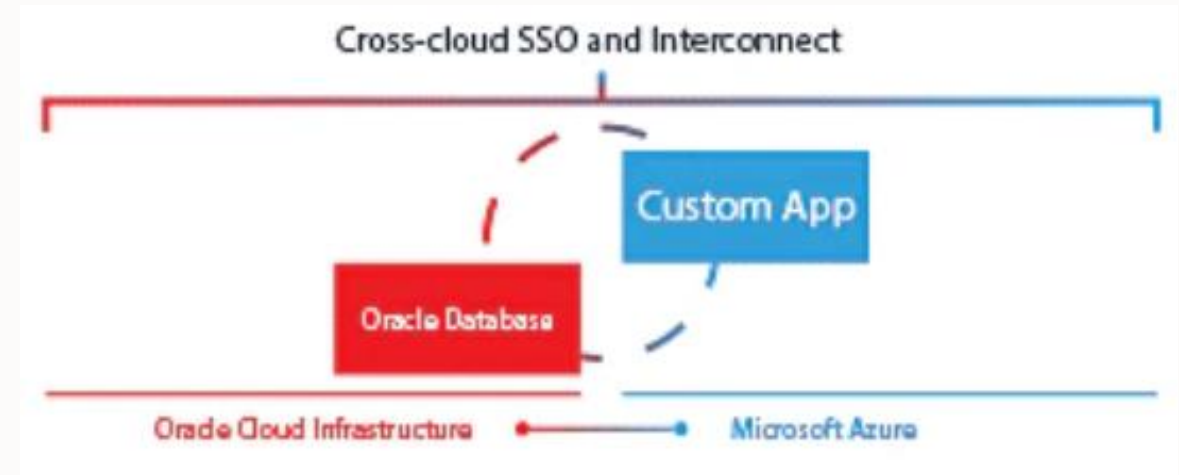
Microsoft Azureとの相互接続により実現可能なこと

クロスクラウドのシングルサインオン、AzureからOracle Autonomous Databaseへの接続などが可能に



クロスクラウドでのシングルサインオン

Oracle CloudのアプリケーションはAzure Active Directoryをアイデンティティプロバイダとアクセス管理のために利用可能



AP on Azure + DB on OCIのクロスクラウド構成

Azure上のアプリケーションからOracle Cloud上のOracle Autonomous DatabaseやExadata Cloud Serviceへアクセスするクロスクラウド構成が構築可能

サービスの開始

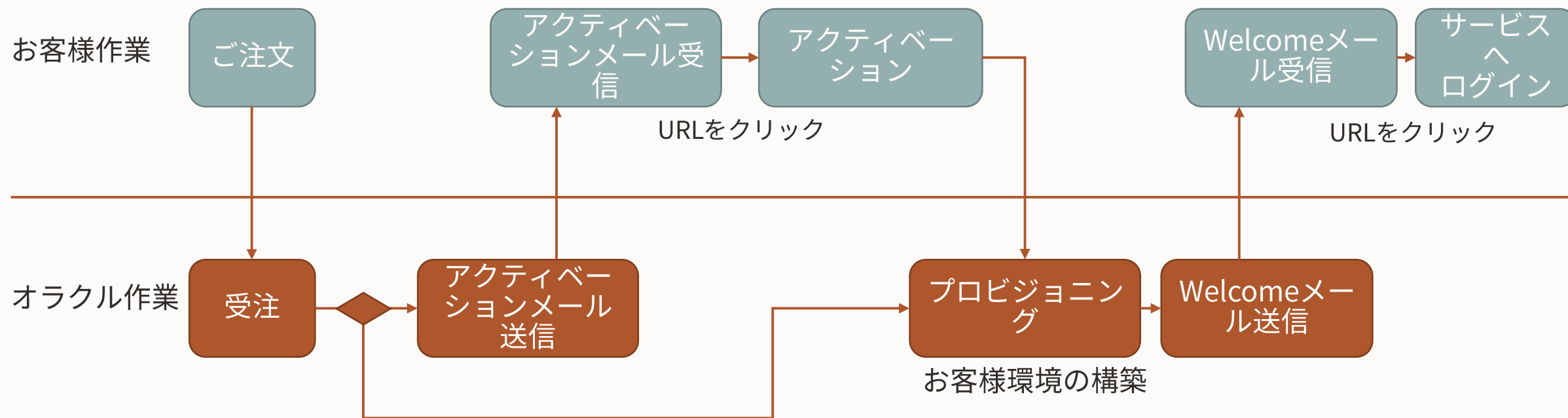
- Oracle Cloud 利用開始までの流れ

Oracle Cloud 利用開始までの流れ

ご注文 → メール受信 → アクティベーション → メール受信 → 利用開始

「アクティベーション」とは？

- ご注文を確認いただく
- クラウド・アカウント名を指定する
- ホーム・リージョンを選択する



アクティベーション作業

ご契約後に手動設定を促す下記メールがお客様の管理者として指定したユーザーに送信されます。ガイドに従ってアカウント設定します。

件名：Oracle Cloudへようこそ。アカウントを設定します。

差出人：Oracle Cloud
[oraclecloudadmin_ww@oracle.com]



ORACLE クラウド

マイ・サービスのアクティブ化

Oracle Cloudアカウントを作成してオーダーの一部であるサービスをアクティブ化することから始めましょう。将来、追加サービスにサインアップすると、これらをOracle Cloudアカウントに追加できます。

1 アカウント詳細

*クラウド・アカウント名 **アカウント名を指定**
Oracle Cloudアカウントを識別してクラウド・サービスへのアクセス時に使用する一意の名前を選択します。

*電子メール・アドレス **メールを受信した管理者(Service Admin)のメールアドレス**
クラウド・アカウントの設定用電子メールを受信したアドレスを入力します。

*ホーム・リージョン **ホームリージョンの指定 ※詳細は次ページで説明推奨は以下のいずれか**
パフォーマンスを最大化するために、ユーザーに最も近いリージョンを選択します。サービスの可用性については、「リージョン」を参照してください。アカウント名は、アイデンティティ・ドメイン名としても使用され、ログイン画面およびサービスURLなどでサービスの管理者およびエンド・ユーザーに表示されます。そのため、組織名または部署名(あるいはその両方)を示すアカウント名にすることを薦めます。Regions.

「アジア太平洋> 日本東部 (東京)」
「アジア太平洋> 日本中央部 (大阪)」
※ 上記2つの項目を入力するまで、表示されません

2 管理者詳細

最初のクラウド・アカウント管理者およびサービスのサービス管理者の電子メール・アドレスを入力します。この管理者は、他の管理者またはユーザーを作成できます。

*電子メール **管理者にしたいメールアドレスを入力します**
管理者のログイン名が自動入力されます

*ユーザー名
*名 **お名前 (First Name)**
*姓 **お名前 (Last Name)**

② 各情報を入力後クリック

③指定した管理者にWelcomeメールが送付されます

アカウントの作成

Copyright © 2020, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

アクティベーション作業 ホーム・リージョンの選択

アクティベーション時に、利用するデフォルトのホーム・リージョンを選択します。

- ホーム・リージョン毎に利用可能なサービスが異なります。
利用可能サービス一覧は弊社サイトにて確認いただけます。

<https://www.oracle.com/cloud/data-regions.html#apac>

- 日本からご利用の場合、推奨ホーム・リージョンは
アジア太平洋
「日本東部（東京）」または 「日本中央部（大阪）」
です。
- 海外からご利用の場合は、ご利用のリージョンを選択下さい。
ご不明な場合は、担当営業・CSMにご相談下さい。
- アクティベーション後、その他のデータ・リージョンも簡単な操作で追加登録しご利用頂くことが可能です。

* ホーム・リージョン 選択してください...

選択してください...

北アメリカ

米国東部(アッシュバーン)

米国西部(フェニックス)

カナダ南東部(トロント)

ヨーロッパ

ドイツ中央部(フランクフルト)

英国南部(ロンドン)

スイス北部(チューリッヒ)

アジア太平洋

インド西部(ムンバイ)

大韓民国中部(ソウル)

オーストラリア東部(シドニー)

日本中央部(大阪)

日本東部(東京)

ラテン・アメリカ

ブラジル東部(サンパウロ)

2 管理者詳細

最初のクラウド・アカウントを作成できます。

* 電子メール

* ユーザー名

* 名

* 姓

取消

およびプライバシー

Welcomeメールの受信 サービスの開始

アクティベーション後、サービス環境の準備が完了すると、お客様が管理者に指定したユーザーにWelcomeメールが送信されます。

件名： Oracle Cloudへようこそ。 Oracle Public Cloud Servicesを使用する準備ができました。

差出人： Oracle Cloud [oraclecloudadmin_ww@oracle.com]

ORACLE Cloud

こんにちは、Oracle Cloudユーザー様、

Oracle PaaS and IaaS Universal Creditsの準備ができました。この新しいサービスを管理するには、アカウントにアクセスしてください。

管理責任者の場合は、クラウド・アカウント内で、追加のユーザーを作成し、特定のロールと責任を割り当てることができます。詳細は、「[ユーザーの追加とロールの割当て](#)」を参照してください。

マイ・サービスのアクセス詳細

ユーザー名:	ユーザー名
一時パスワード:	一時パスワード
クラウド・アカウント:	クラウド・アカウント名

[Oracle Cloudスタート・ガイド](#) >

クリックしてサイン・イン画面へ

Welcomeメールには、OracleCloudにログインするための以下の情報が含まれています。

- ユーザー名
- 一時パスワード
- クラウド・アカウント名
- サイン・イン画面へのリンク

Welcomeメールの受信 カスタマ・サポートID(CSI番号)の確認

ORACLE Cloud

こんにちは、Oracle Cloudユーザー様、

Oracle PaaS and IaaS Universal Creditsの準備ができました。この新しいサービスを管理するには、アカウントにアクセスしてください。

管理責任者の場合は、クラウド・アカウント内で、追加のユーザーを作成し、特定のロールと責任を割り当てることができます。詳細は、「[ユーザーの追加とロールの割当て](#)」を参照してください。

マイ・サービスのアクセス詳細

～ 省略 ～

オーダーの詳細

オーダーID:	
オーダー日:	
顧客アカウント:	
PO番号:	
クラウド・アカウント:	
アイデンティティ・ドメイン:	

注意: Oracleサポートにお問合せの際は、**カスタマ・サポートID (CSI) 番号12345678**を使用するか、クラウド・サービスから直接Oracleサポートにアクセスしてください。

セールスとチャット

サポートとチャット

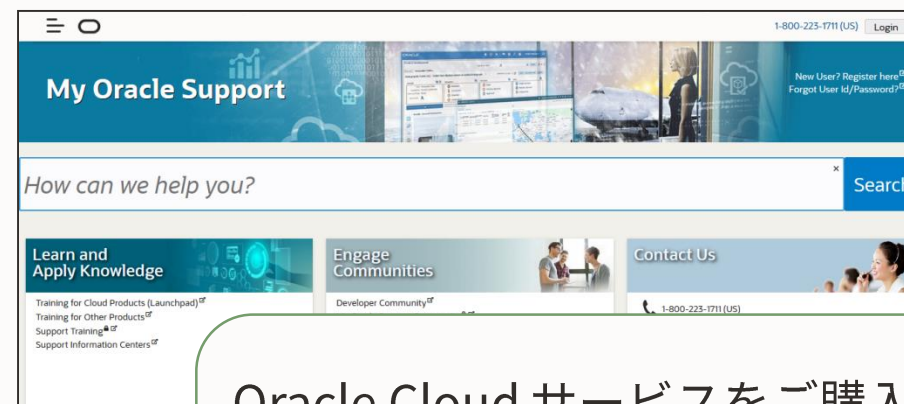
ドキュメント

Welcomeメールの下部に8桁のカスタマ・サポートID(CSI番号)のご案内があります。こちらの番号で、サービス・リクエスト(SR)の起票が可能になります。

このメールを受領した方はサポートIDの管理者(CUA)として登録されています。

[Oracle Cloud Support ご利用ガイド ユーザー登録・管理 \(PDF\)](#)

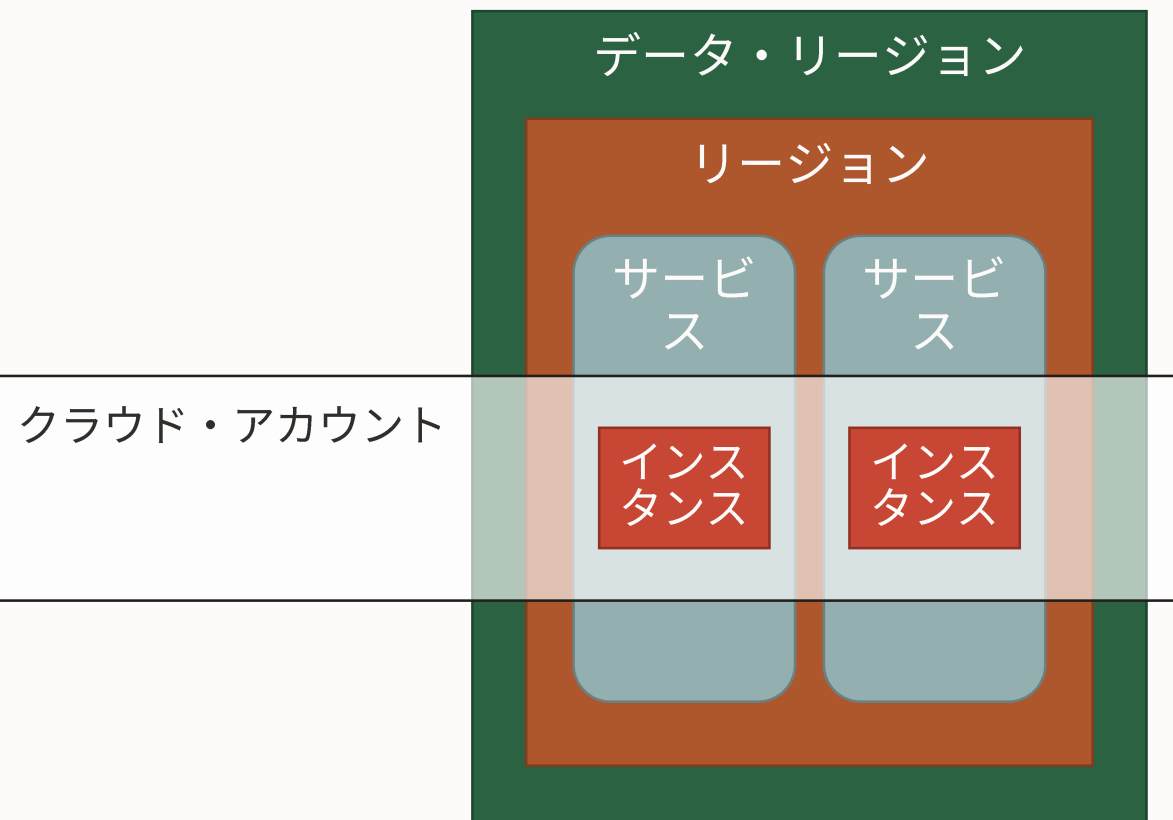
[Oracle Cloud Support ご利用ガイド SR作成・管理 \(PDF\)](#)



Oracle Cloud サービスをご購入いただいたお客様は、[My Oracle Support](#)よりオラクル・カスタマ・サポートがご利用いただけます。

【参考】 Oracle Cloud の用語

クラウド・アカウント / データ・リージョン / リージョン / サービスの関係



※理解促進のためのイメージ図であり、実際の実装を正確に表現したものではありません。

用語	具体例	説明
クラウド・アカウント	ABCcorp01	お客様固有のクラウド環境を識別する名前
データ・リージョン	NA(北アメリカ)、EMEA(ヨーロッパ、中東、アフリカ)、APAC(日本およびアジア・パシフィック)、LAD(ラテン・アメリカ)	1つまたは複数のデータ・センターに関連付けられる地理的な地域
リージョン	Japan East (東京) Japan Central (大阪) US East (アッシュバーン)	1つまたは複数の物理的なADから構成される
サービス	Database Cloud Service Compute Cloud Service	提供されるサービス



サービスの開始

- Oracle Cloudへのサインイン

Oracle Cloud 情報サイト

<https://www.oracle.com/jp/index.html>

左上の三本線をクリックすると各サービスの詳細情報へのリンクが表示されます。

- Generation 2クラウド・インフラストラクチャ
- オンプレミス・インフラストラクチャ
- クラウド・アプリケーション
- Data Cloud
- 業種別
- オンプレミス・アプリケーション
- 会社情報
- 製品ヘルプ
- ニュースとイベント

右上のボタンを押して「クラウドにサインイン」をクリックするとOracle Cloudのサインイン画面に遷移します。



サインイン クラウド・アカウント名の入力

サインイン画面から、クラウド・アカウント名を入力します。

- ① クラウド・アカウント名を入力
- ② 「Next」 ボタンをクリック

ORACLE® Cloud

Cloud Account Name ?

①

orac

②

Next

Forgot your cloud account name? [Get help](#)

[Sign In using a Traditional Cloud Account](#)

サインイン ユーザー名の入力

ORACLE Cloud

クラウド・アカウント名

Oracle Cloudアカウントのサインイン

ユーザー名

① ユーザー名または電子メール

パスワード

② パスワード

サイン・イン

サインインにお困りですか。 ※ここをクリックしてください

① ユーザー名とパスワードを入力

② 「サイン・イン」をクリック

初回は、Welcomeメールに記載されている一時パスワードを入力ください。その場合、次ページで新しいパスワードの入力が求められます

※もし、パスワードがわからない場合「ここをクリックしてください」をクリックしてユーザー名を入力するとパスワードリセットのメールが、入力したユーザーの方へ配信されますので、パスワードの変更を行ってください。

パスワードを忘れた場合はこちら

パスワードに問題がありますか。ここでリセットしてください。

ユーザー名は何ですか。

ユーザー名を入力

次

取消

サインイン OCI コンソール画面

ORACLE Cloud アプリケーション リソースとサービスの検索 Japan East (Tokyo)

クイック・アクション

- 2-6分 コンピュート VMインスタンスの作成
- 3-5分 AUTONOMOUS TRANSACTION PROCESSING ATPデータベースの作成
- 3-5分 AUTONOMOUS DATA WAREHOUSE ADWデータベースの作成
- 2-3分 ネットワーキング ウィザードを使用してネットワークを設定
- 2-6分 オブジェクト・ストレージ データの格納
- 5分 ネットワーキング ロード・バランシングの設定

ソリューション

- Oracleおよびサード・パーティのソフトウェアをマーケットプレイスからデプロイ
- PeopleSoft検証済ソフトウェア・アーキテクチャの評価
PeopleSoftのビジネス目標および技術目標をクラウドで達成します
- カスタム・アプリケーションをOracle Cloudに移行
Oracle Databaseを使用するカスタム・アプリケーションをクラウドに移行する利点および検証済ソリューション
- Always Freeのリソースを使用して、3層のWebアプリケーションをデプロイします。

すべてのシステムが動作可能
ヘルス・ダッシュボードの表示

アクション・センター

- ユーザー管理
テナンシへのユーザーの追加
- 請求
コストの分析
支払方法の管理

最新情報

- Data Flow is now available in the Japan Central (Osaka) and Netherlands Northwest (Amsterdam) regions.
2020年3月23日
- Data Science JupyterLab environment and the Accelerated Data Science SDK are enhanced
2020年3月20日
- Monitoring of Kubernetes clusters managed by Container Engine for Kubernetes
2020年3月19日
- Exadata Cloud at Customer X7-2

使用条件およびプライバシー Cookieの設定

Copyright © 2020, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

使ってみよう Oracle Cloud Infrastructure

OCIコンソール

サインイン直後は下記のようなOCIコンソールが表示されます。



OCIコンソールでは、サービスを利用するためのメニュー・リンクが用意されています。

- ① サービスメニュー
- ② コンソール表示言語設定
- ③ リージョン選択・管理
- ④ OCIのステータス確認
- ⑤ 最新情報の紹介
- ⑥ リソースの検索
- ⑦ OCIコンソールの表示



① サービスメニューの表示

左上のメニューボタンをクリックすると各種OCIサービス进行操作する画面へ遷移するメニューが表示されます。

IaaS
Compute, Storage
Network など

DB PaaS
Autonomous Database
Database Cloud Service
NoSQL など



PaaS
各種のPaaS

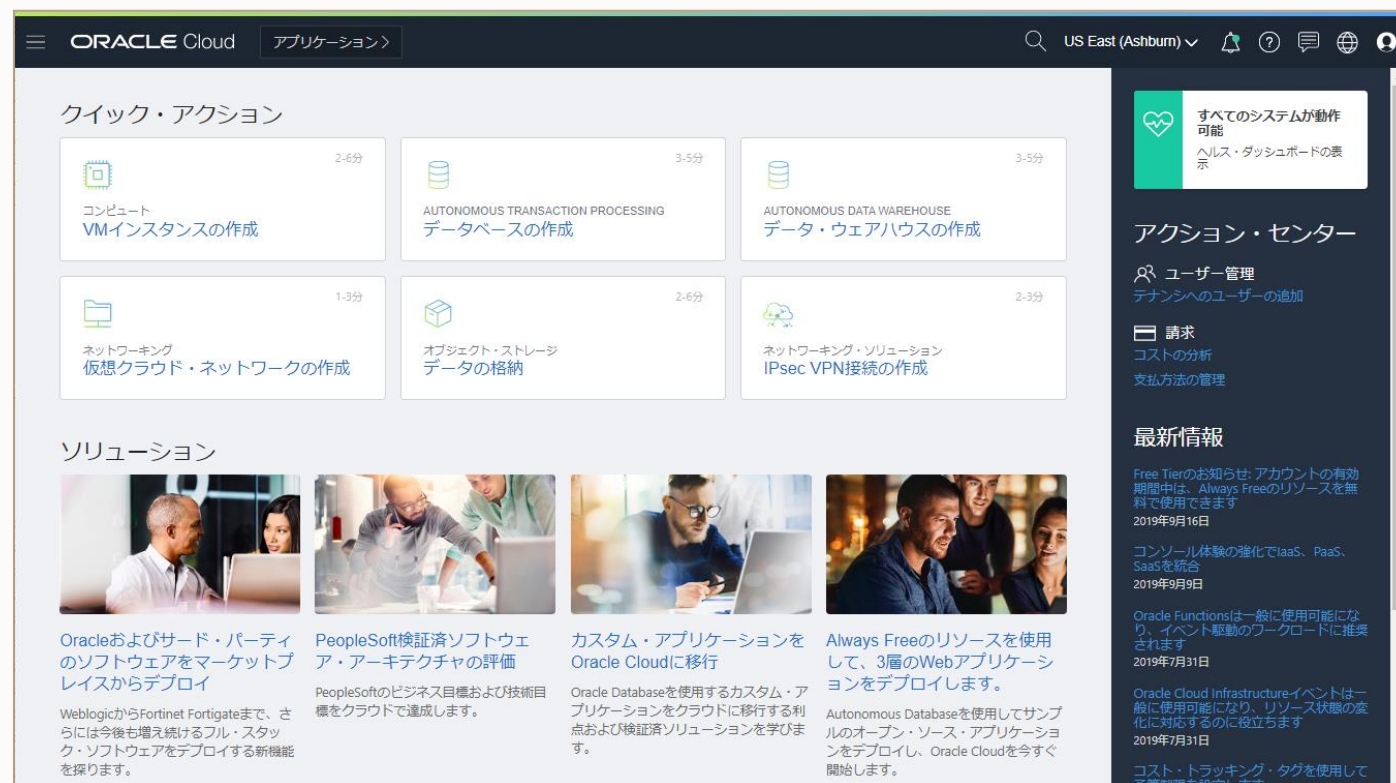
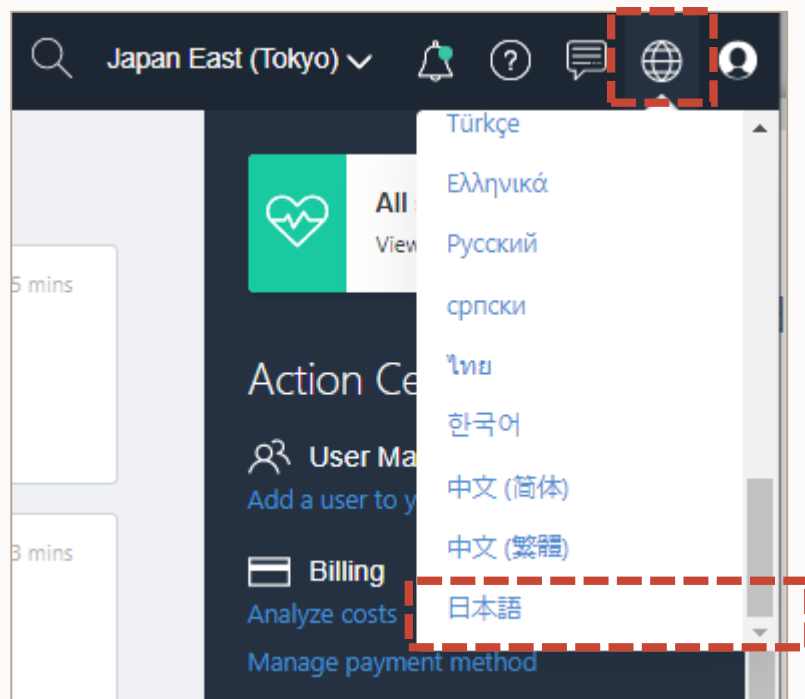
Oracle Platform
Cloud Service
サービス
旧来提供していた
サービスなど

管理サービス
ユーザー管理
コスト分析など

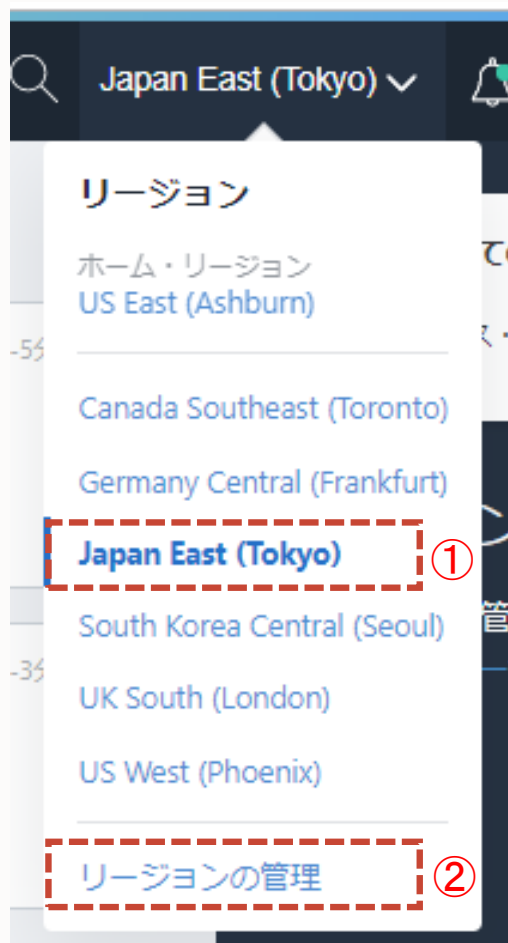


② 日本語表示の設定

画面の右上の地球儀アイコンをクリックし、「日本語」を選択すると、日本語画面が表示されます。



③ リージョンの切替と追加



- ① 画面右上のプルダウンメニューから、利用リージョンを選択
- ② 「リージョンの管理」から追加したいリージョンを選択し、「このリージョンのサブスクライブ」をクリック



④OCIサービス・ステータス情報

<https://ocistatus.oraclecloud.com/>

ORACLE[®]

Cloud Infrastructure

All Systems Operational

Current Status

SUBSCRIBE TO UPDATES

	Commercial																Government				
	Australia Southeast (Melbourne)	India West (Mumbai)	Japan Central (Osaka)	South Korea Central (Seoul)	Australia East (Sydney)	Japan East (Tokyo)	Canada Southeast (Montreal)	Canada Southeast (Toronto)	Netherlands Northwest (Amsterdam)	Germany Central (Frankfurt)	Switzerland North (Zurich)	Saudi Arabia West (Jeddah)	Brazil East (Sao Paulo)	UK South (London)	US East (Ashburn)	US West (Phoenix)	US Gov East (Ashburn)	US Gov West (Phoenix)	US DoD East (Ashburn)	US DoD North (Chicago)	US DoD West (Phoenix)
Compute - Instances ?	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
Compute - Instance Configuration ?	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
Compute - Instance Pools ?	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔

サービスコンポーネント
毎、リージョン毎の現在の
サービス状態の表示

過去のインシデント履歴
の閲覧

インシデント発生時の
メールやSNSでの通知の
設定



使ってみよう Oracle Cloud Infrastructure ～OCIユーザー(IAM) の追加～

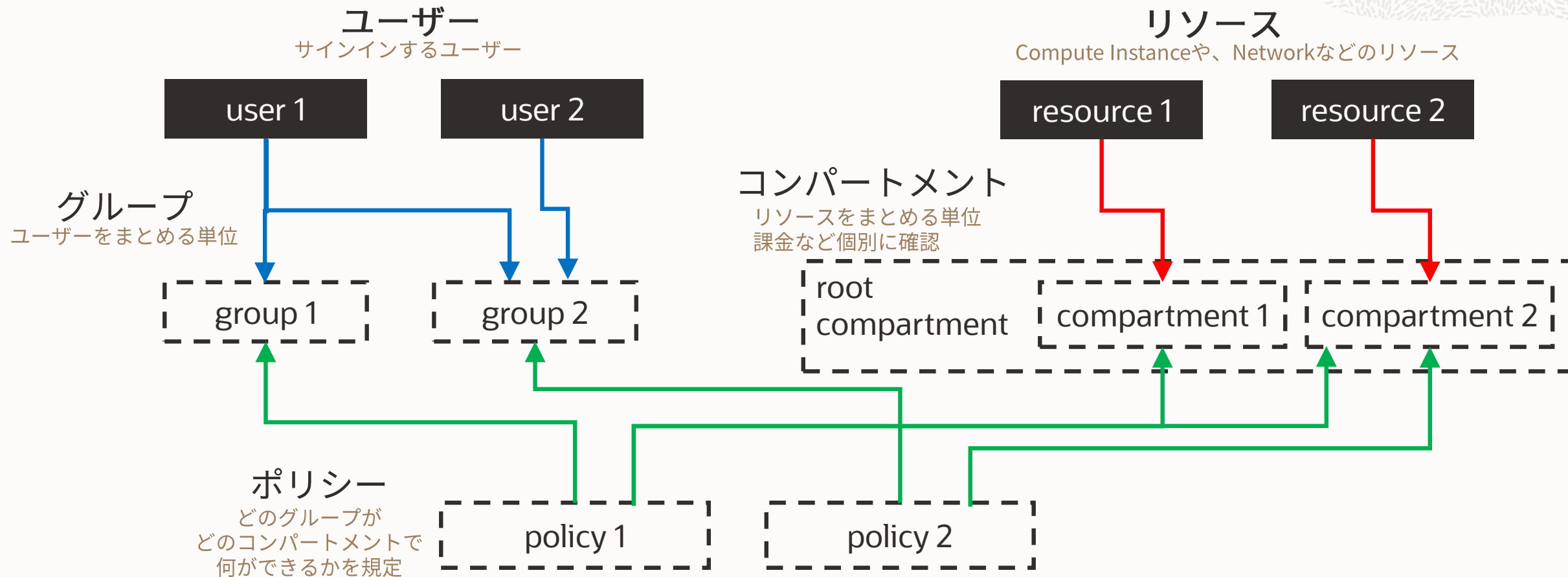
OCIユーザーの作成

ユーザーの作成、権限設定、コンパートメント作成までの手順

- ① OCIユーザーの作成
- ② パスワードの設定
- ③ グループの作成
- ④ グループの追加
- ⑤ コンパートメントの作成
- ⑥ ポリシーの作成

ユーザー/グループ/ポリシー/コンパートメント

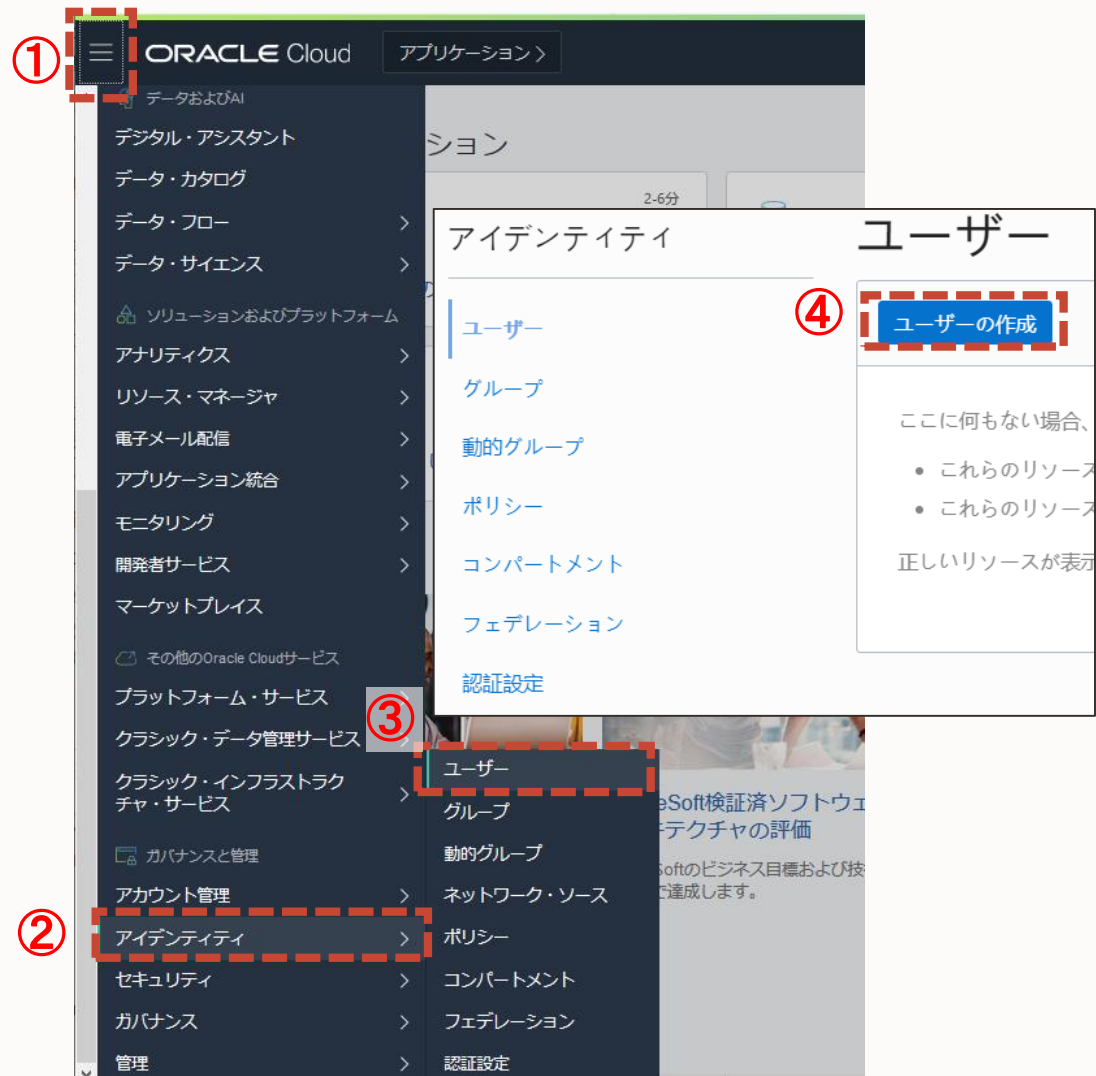
OCIの権限管理やリソースの管理に関する概念を表しています。



ポリシーのステートメントの入力例：

Allow group <グループ名> to manage all-resources in compartment <コンパートメント名>

① OCIユーザーの作成



- ①メニュー
- ②アイデンティティ
- ③ユーザー
- ④「ユーザーの作成」をクリック
- ⑤「名前」、「説明」と「電子メール」を入力
- ⑥「作成」ボタンをクリック

This screenshot shows the 'ユーザーの作成' (Create User) form. The form has several input fields: '名前' (Name) with the value 'TaroOracle', '説明' (Description) with the value 'Taro Oracle', '電子メール オプション' (Email Option) with the value 'taro.oracle@oracle.com', and '電子メールの確認' (Email Confirmation) with the value 'taro.oracle@oracle.com'. A red dashed box labeled '⑤' highlights the '名前' field. At the bottom, there are two buttons: '作成' (Create) and '取消' (Cancel). A red dashed box labeled '⑥' highlights the '作成' button. A warning message at the top states: 'このページで作成されるのはローカル・ユーザーのみです。フェデレーテッド・ユーザーを作成して管理するには、[「フェデレーション」ページ](#)に移動して、適切な「アイデンティティ・プロバイダの詳細」ページを探してください。'

②パスワード設定

①メニュー ②アイデンティティ ③ユーザー

④対象ユーザー名をクリック

⑤「パスワードの作成/リセット」タブクリック

⑥「パスワードの作成/リセット」ボタンクリック

⑦新しいパスワードを記録する

Oracle Cloud アプリケーション >

データおよびAI

デジタル・アシスタント

データ・カタログ

データ・フロー

データ・サイエンス

ソリューションおよびプラットフォーム

アナリティクス

リソース・マネージャ

電子メール配信

アプリケーション統合

モニタリング

開発者サービス

マーケットプレイス

その他のOracle Cloudサービス

プラットフォーム・サービス

クラシック・データ管理サービス

クラシック・インフラストラクチャ・サービス

ガバナンスと管理

アカウント管理

アイデンティティ

セキュリティ

ガバナンス

管理

アイデンティティ

ユーザー

グループ

動的グループ

ネットワーク・ソース

ポリシー

コンパートメント

フェデレーション

認証設定

タグ・フィルタ

追加! クリア

タグ・フィルタは適用されていません

ユーザー・タイプ

☐ ローカル

☐ ORACLEIDENTITYCLOUDSERVICE

ユーザーの作成

名前

Taro.Oracle@oracle.com

ユーザーの詳細 > APIキー

Taro.Oracle@oracle.com

Taro Oracle

ユーザーの編集

パスワードの作成/リセット

ユーザー機能の編集

マルチファクタ認証の無効化

タグの追加

削除

パスワードの作成/リセット

取消

これにより、ユーザーの新しいワンタイム・パスワードが作成されます。

パスワードの作成/リセット

作成日: 2020年2月17日(月) 10:00:27 UTC

ヘルプ 閉じる

新規パスワード

このパスワードを記録用にコピーしてください。これは再度表示されません。

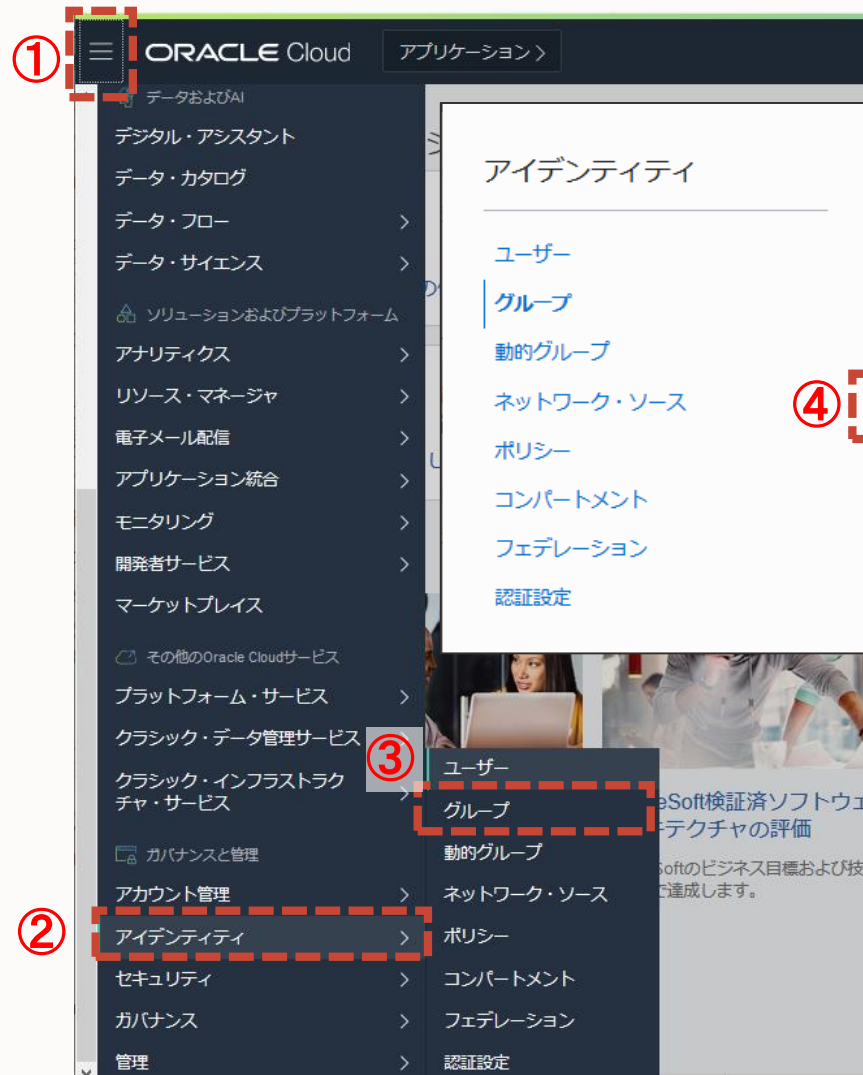
***** 表示 コピー

閉じる

フェデレーテッド:

SMTP資格証明: は

③グループの作成



- ①メニュー
- ②アイデンティティ
- ③グループ
- ④「グループの作成」をクリック
- ⑤「名前」と「説明」を入力
- ⑥「作成」ボタンをクリック

This screenshot shows the 'グループの作成' (Create Group) form. The form has a title bar with 'ヘルプ' (Help) and '取消' (Cancel) buttons. Below the title bar, there is a warning message in a yellow box: 'このページで作成されるのはローカル・グループのみです。フェデレーテッド・グループを作成して管理するには、「フェデレーション」ページに移動して、適切な「アイデンティティ・プロバイダの詳細」ページを探してください。' (Only local groups can be created on this page. To create and manage federated groups, move to the 'Federation' page and find the appropriate 'Identity Provider Details' page). The form contains several input fields: '名前' (Name), '説明' (Description), and 'タグ' (Tags). The '名前' field is highlighted with a red dashed box and a red circle labeled '5'. Below the '説明' field, there is a section for 'タグ' (Tags) with a table for 'タグ・ネームスペース' (Tag Namespace), 'タグ・キー' (Tag Key), and '値' (Value). The '作成' (Create) button is highlighted with a red dashed box and a red circle labeled '6'.

④グループの設定

①メニュー ②アイデンティティ ③グループ
④対象グループ名をクリック
⑤「ユーザーをグループに追加」タブクリック
⑥追加するユーザー名を選択
⑦追加ボタンをクリック

ORACLE Cloud アプリケーション >

データおよびAI
デジタル・アシスタント
データ・カタログ
データ・フロー
データ・サイエンス
ソリューションおよびプラットフォーム
アナリティクス
リソース・マネージャ
電子メール配信
アプリケーション統合
モニタリング
開発者サービス
マーケットプレイス
その他のOracle Cloudサービス
プラットフォーム・サービス
クラシック・データ管理サービス
クラシック・インフラストラクチャ・サービス
ガバナンスと管理
アカウント管理
アイデンティティ
セキュリティ
ガバナンス
管理

アイデンティティ
グループ
動的グループ
ネットワーク・ソース
ポリシー
コンパートメント
フェデレーション
認証設定

グループ
① かわりに、フェデレーション
このテナンシには、アイデンティティ
ユーザーのグループを作成して管理するには、[フェデレーション](#)

グループの作成

名前	OCID
Administrators	...kh2lpq

グループ情報
OCID: ...kh2lpq 表示 コピー
作成日: 2020年2月25日(火) 7:08:59 UTC
説明: Administrator

グループ・メンバー

名前	OCID	説明	フェデレーテッド
----	------	----	----------

ユーザーをグループに追加
ユーザー
ユーザーの選択
追加 取消

⑤ コンパートメントの作成

① メニュー ② アイデンティティ ③ コンパートメント
④ 「コンパートメントの作成」をクリック
⑤ 「名前」と「説明」を入力、親コンパートメント選択
⑥ 「コンパートメントの作成」ボタンをクリック

① ORACLE Cloud アプリケーション > リソースとサービス

② アイデンティティ

③ コンパートメント

④ コンパートメントの作成

⑤ コンパートメントの作成

名前

説明

親コンパートメント

テナント名 (ルート)

タグ付けとは、テナント内のリソースを整理およびトラッキングできるメタデータ・システムです。タグは、リソースにアタッチできるキーと値から構成されます。

タグ付けの詳細

タグ・ネームスペース

タグ・キー

値

なし(フリーフォーム・タグ...)

+ 追加タグ

⑥ コンパートメントの作成

⑥ポリシーの設定

①メニュー ②アイデンティティ ③コンパートメント

④「ポリシーの作成」をクリック

⑤「名前」と「説明」を入力、「ステートメント」を入力

⑥「作成」ボタンをクリック

ステートメントの入力例：
Allow group <グループ名> to manage all-resources
in compartment <コンパートメント名>

使ってみよう Oracle Cloud Infrastructure ～OCIサービス利用～

チュートリアルの実施

実際のサービスの利用については、下記のチュートリアルを参照ください。
ステップ・バイ・ステップで作業を進め、OCIの機能についてひとつひとつ学習することができます。



Oracle Cloud 公式ブログの文書

チュートリアル: Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう

mmarukaw-Oracle が 2017/11/01 5:13 に作成。 mmarukaw-Oracle が 2020/01/01 10:13 に更新。

このドキュメントは Oracle Cloud Infrastructure (OCI) を使っていく際のステップ・バイ・ステップで作業を進めることができるようになっています。 [Oracle Cloud Infrastructure 活用ガイド](#) をご覧ください。

また、こちらのチュートリアルのうち、初級編を元にしたハンズオンセミナーにてご案内しますので、ご興味のある方はぜひ [こちら](#) を定期的にチェックしてください。

準備 - Oracle Cloud の無料トライアルを申し込む

[Oracle Cloud 無料トライアルを申し込む](#)

Oracle Cloud のほとんどのサービスが利用できる無料トライアル環境を取得する内容を試すのに必要になりますので、まずは取得してみましょう。
※取得には認証用のSMSが受け取ることができる電話と、有効なクレジット/預金残高は必要ありませんのでご安心を!!

- [Oracle Cloud 無料トライアル サインアップガイド](#)
- [Oracle Cloud 無料トライアルに関するよくある質問\(FAQ\)](#)

チュートリアル初級編 - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう

- [OCIコンソールにアクセスして基本を理解する - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう\(その1\)](#)
まずはコンソールにアクセスしてみましょう。そしてリージョン、アベイラビリティ・ドメイン、コンパートメント、ポリシー(ACL)、サービス・リミットなどのOCIの基本的なコンセプトについて学びます。
- [クラウドに仮想ネットワーク\(VCN\)を作る - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう\(その2\)](#)
クラウドの最初の一步は、クラウド上に皆さん専用のネットワーク(VCN)を作るところから始まります。難しい作業は必要ありません。まずはやってみましょう!!
- [インスタンスを作成する - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう\(その3\)](#)
ネットワークができたら、いよいよインスタンスを立ち上げましょう。OCIなら仮想マシンもベアメタルサーバーも同じように簡単に作成できます。
- [ブロック・ボリュームをインスタンスにアタッチする - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう\(その4\)](#)
ストレージ容量が足りない? そんなときは、ブロック・ボリュームをネットワーク越しにインスタンスにアタッチできます。
- [インスタンスのライフサイクルを管理する - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう\(その5\)](#)
作ったインスタンスを必要ときに止めたり、削除したり、また再作成したりと、いつでも簡単にできてしまうところがクラウドのいいところです。実際にどのような動きになるのか試してみましょう。
- [ファイルストレージサービス\(FSS\)で共有ネットワークボリュームを利用する - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう\(その6\)](#)
ファイルストレージサービス(FSS)を利用すると、複数のインスタンスから同時にネットワーク越しに利用できる共有ディスクを簡単に作成することができます。
- [オブジェクト・ストレージを使う - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう\(その7\)](#)
オブジェクト・ストレージを使うと、とても堅牢なデータストアを信じられないくらい安価に利用できます。まずは簡単な使い方を学びましょう。
- [クラウドでOracle Databaseを使う - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう\(その8\)](#)
Oracleのクラウドで使いたいものと言ったら、そう! Oracle Database!! OCIでは仮想マシン、ベアメタルサーバーからExadataまで、様々なOracle Databaseを簡単に使うことができます。まずはインスタンスを作ってみましょう。

チュートリアルのトピック

1. OCIへのアクセス
2. 仮想ネットワークの作成
3. インスタンスの作成
4. ブロック・ボリュームの操作
5. インスタンスのライフサイクル管理など

他にもLoad BalancerやDatabase Serviceなど、各種サービスの利用方法を紹介しています。

<https://community.oracle.com/docs/DOC-1019313>

サービス制限について(1/2)

OCIでは、一連のサービス制限が設定されます。サービス制限は、リソースに設定されているクォータまたは許容量です。申請することで制限を増加させることが可能です。

☰

ORACLE Cloud

Application

Exadata Cloud at Customer

データおよびAI

デジタル・アシスタント

ソリューションおよびプラットフォーム

アナリティクス

リソース・マネージャ

電子メール配信

アプリケーション統合

モニタリング

開発者サービス

マーケットプレイス

その他のOracle Cloudサービス

Other Services

ガバナンスと管理

アカウント管理

アイデンティティ

セキュリティ

ガバナンス

管理

制限、割当ておよび使用状況

お客様のテナンシには、使用可能なリソースの最大数に制限があります。コンパートメントにリソースを割り当てるには、割当てを行います。対象アカウントの管理者である場合は、サービス制限の引上げをリクエストできます。

[クラシック・ビューに切替え](#)

サービス

Compute

スコープ ⓘ

xbSg:AP-TOKYO-1-AD-1

リソース

Select...

コンパートメント

<CompartmentName>

説明	制限名	サービス制限	使用量	使用可能 ⓘ
BM.DenseIO1.36	bm-dense-io1-36-count	0	0	0
BM.DenseIO2.52	bm-dense-io2-52-count	2	0	2
BM.GPU2.2	bm-gpu2-2-count	0	0	0
BM.GPU3.8	bm-gpu3-8-count	2	0	2
BM.HPC2.36	bm-hpc2-36-count	5	0	5
BM.Standard.B1.44	bm-standard-b1-44-count	2	0	2
BM.Standard.E2.64	bm-standard-e2-64-count	2	0	2
BM.Standard1.36	bm-standard1-36-count	0	0	0
BM.Standard2.52	bm-standard2-52-count	2	0	2

割当て制限ポリシー

制限、割当ておよび使用状況

タグ・ネームスペース

- ① サービス制限の範囲
- ② サービス制限の数量
- ③ 実際に利用しているリソースの使用量と残り利用可能な数量

※ 一覧表示したい場合は、クラシック・ビューを利用ください



サービス制限について(2/2)

ORACLE Cloud Applications > US East (Ashburn)

サービス制限の引き上げのリクエスト

テナンシのリソース制限を引き上げるリクエストを送信します。

主な連絡先の詳細

名前
このリクエストの主な連絡担当者の名前。

電子メール
このリクエストの主な連絡担当者の電子メール・アドレス。

リソース制限の引き上げ(リクエストは増分であり、現在の制限に加算されます)

サービス・カテゴリ
カテゴリの選択

リソース
リソースの選択

+ 追加リソース制限

リクエストの理由
リクエストに関して含める追加情報。

次で指定されているより強力な保護を必要とする欧州居住者の個人情報、HIPAAの対象となる保護医療情報、またはその他の機密個人情報(クレジット・カード・データなど)を送信しないでください[Oracle GCSのセキュリティの措置](#)

サービス制限リクエストは、すぐには処理されません。ほとんどの制限リクエストは、1営業日以内に解決されます。ただし、リクエストしたリソースまたは数量によっては、割当てにさらに時間がかかることもあります。これが緊急リクエストの場合は、重大度を指定して、「リクエストの理由」テキスト・ボックスにその状況を記載してください。

リクエストの送信 Cancel

使用条件およびプライバシー クッキー選択設定 Copyright © 2019, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

前頁の「[サービス制限の引き上げ](#)」をクリックすると、サービス制限を増やすためのリクエストを行うページが表示されます

サービス制限の引き上げリクエストを実施すると、登録したメールアドレス宛に、申請の受領と、引き上げ実施完了がメールにて通知されます

Oracle Cloud PaaS & IaaS サービスポリシー

Oracle Cloud PaaS & IaaS サービスポリシー

Oracle Cloud PaaS & IaaSサービスのサービス内容を確認するには主に以下のドキュメントを参照します。

Cloud Service Agreement (CSA)

Oracle Cloudサービスのメインの契約
サービス全体にかかる契約条項を含む

サービスの使用、費用および税金、所有権及び制限、機密保持など

Data Processing Agreement(DPA)

Oracle Cloudサービスのデータ処理に
関する契約

パーソナルデータの取り扱い、国境を超えたデータ移転、技術的対策及び組織的対策、監査権など

Service Description

各Cloudサービスのサービス仕様定義

サービス名称、製品番号、メトリック（課金の単位）、サービス概要、サービスコミットメントなど

Host & Delivery Policy

Oracle Cloudサービスの運用ポリシー

セキュリティポリシー、サービス継続性ポリシー、サービスレベルオブジェクトティブポリシー、
変更管理ポリシー、サポートポリシーなど

Oracle Cloud PaaS & IaaS サービスポリシー

前頁の文書は、Oracle Cloud Contractsページに掲載されています。

<http://www.oracle.com/us/corporate/contracts/cloud-services/index.html>

Cloud Service Agreement

Oracle Cloud Contractsセクション> Online Oracle Cloud Service Agreementセクション> Asia Pacificタブの [Japan - Japanese](#) (日本語版)/North Americaタブの [United States](#) (英語版)

Data Processing Agreement

Oracle Cloud Contractsセクション>Data Processing Agreementセクション> [Data Processing Agreement for Oracle Services - 062619 \(PDF\)](#)(英語版のみのご提供)

Service Description

Service Descriptionセクション> Oracle Tech Cloudセクション
> [Oracle PaaS and IaaS Universal Credits - Service Descriptions](#) (英語版のみのご提供)

Host and Delivery Policy

Hosting and Delivery Policiesセクション> Oracle Cloud Hosting and Delivery PoliciesセクションのView Local Language Versionsをクリック>[Oracle Cloud Hosting and Delivery Policies – Japanese](#)(日本語版)/ [Oracle Cloud Hosting and Delivery Policies](#)(英語版)

Hosting and Delivery Policiesセクション> PaaS/IaaS Cloud Services Pillar Documentセクション>[Oracle PaaS/IaaS Public Cloud Services Pillar Document](#) (英語版のみのご提供)

Oracle CloudのSLA (サービスレベルアグリーメント)

Oracle Cloud Infrastructure では、**可用性**だけでなく、**管理・性能**も含めた、エンタープライズ・レベルのSLAを提供しています

可用性

(利用できるか)

ORACLE®



aws



Microsoft Azure



性能

(性能を満たしているか)



管理

(管理操作ができるか)



※ 詳しくはこちらをご参照ください。 <https://cloud.oracle.com/iaas/sla>



Oracle CloudのSLA (サービスレベルアグリーメント)

可用性 SLA Coverage

Service/Resource	Measurement	Oracle Credit
Compute	Region unavailability	< 99.99% (>4.38 mins/mo) = 10% Service Credit < 99% (>7.2 hours/mo) = 25% Service Credit
	Availability Domain unavailability	< 99.95% (>21.56 mins/mo) = 10% Service Credit < 99% (>7.2 hours/mo) = 25% Service Credit
Block Volumes	Region unavailability	< 99.99% (>4.38 mins/mo) = 10% Service Credit < 99% (>7.2 hours/mo) = 25% Service Credit
Database	Availability Domain unavailability	< 99.9% (>43.8 mins/mo) = 10% Service Credit < 99% (>7.2 hours/mo) = 25% Service Credit
Exadata	Availability Domain unavailability	< 99.95% (>21.56 mins/mo) = 10% Service Credit < 99% (>7.2 hours/mo) = 25% Service Credit

管理 SLA Coverage

Service/Resource	Measurement	Oracle Credit
Compute	API error rate	< 99.9% (>43.8 mins/mo) = 10% Service Credit < 99% (>7.2 hours/mo) = 25% Service Credit
Block Volumes	API error rate	
Database	API error rate	

性能 SLA Coverage

Service/Resource	Measurement	Oracle Credit
Block Volumes	Disk IOPS	90% of published performance
Network	Network performance	< 99.9% (>43.8 mins/mo) = 10% Service Credit < 99% (>7.2 hours/mo) = 25% Service Credit

※ 詳しくはこちらをご参照ください。 <https://cloud.oracle.com/iaas/sla>



その他のOracle Cloudサービスのサービスレベル

Oracle Cloudサービスは各サービスに対してカテゴリ毎にサービスレベルオブジェクトタイプ(SLO/SLA)を設定しています。以下に主なサービスのカテゴリと目標稼働率(SLO)です。

カテゴリ	サービス名称		目標稼働率(/月)
カテゴリ1	• Oracle Java Cloud Service • Oracle SOA Cloud Service	• Oracle Application Container Cloud Service • Oracle Managed File Transfer Cloud Service 等	99.90%
カテゴリ2	• Oracle Database Backup Service	• Oracle Cloud Infrastructure Object Storage Classic	99.90%
カテゴリ3	• Oracle Identity Cloud Service • Oracle CASB Cloud Service • Oracle Autonomous Data Warehouse • Oracle Autonomous Transaction Processing • Java Cloud Service – SaaS Extension	• Oracle Management Cloud • Oracle Analytics Cloud • Oracle Integration Cloud Service • Oracle Content and Experience Cloud • Oracle Blockchain Platform Cloud 等	99.95%
カテゴリ4	• Oracle Big Data Cloud Service – Starter Pack – 3 Nodes	• Oracle Big Data SQL Cloud Service	99.95%
カテゴリ5	• Oracle Cloud Infrastructure Compute Classic • Oracle Cloud at Customer	• Oracle Database Exadata Cloud at Customer • Oracle Cloud Infrastructure Load Balancing 等	99.95%
カテゴリ6	該当項目なし		
カテゴリ7	• Oracle Cloud Infrastructure Compute • Oracle Cloud Infrastructure Block Volume • Oracle Cloud Infrastructure Object Storage • Oracle Cloud Infrastructure – Database Exadata Service • Oracle Cloud Infrastructure – Database Cloud Service	• Oracle Cloud Infrastructure FastConnect • Oracle Cloud Infrastructure DNS • Oracle Cloud Infrastructure Email • Oracle Cloud Infrastructure File Storage 等	SLA ※前頁にて説明

※ 詳しくはこちらをご参照ください。 [Oracle PaaS/IaaS Public Cloud Services Pillar Document](#)



Oracle Cloud からの通知 - メールによる通知 (1/2)

ご利用のサービスに関する各種ご連絡は、Oracle Cloudサービスよりメール通知されます。

主な通知内容

- サービス開始のご案内 (Welcomeメール)

- 緊急メンテナンスのご案内
- メンテナンスのご案内
- 計画外障害通知 (本番イベント通知)
- 推奨処理
- 必須処理

その他 Oracle Cloudからの情報共有

- 予算超過の通知 (設定時)
- サービス終了通知

その他 Oracle Cloudからの情報共有

From: noreply@status.oraclecloud.com [mailto:noreply@status.oraclecloud.com]

Sent: Thursday, June 04, 2019 2:04 PM

To:

Subject: Scheduled Maintenance: Oracle Cloud Infrastructure Exadata - Reminder for Tenant:

- [CN-5459]

ORACLE Cloud Infrastructure



Oracle Cloud Infrastructure Networking - Maintenance Canceled



Oracle Cloud Infrastructure Customer,

We would like to remind you of upcoming scheduled maintenance for Oracle Cloud Infrastructure Exadata in all regions. The timing and details of the scheduled change can be found in the email copy of this notification.

Please validate the health of your services once the scheduled change is complete and contact support if you are experiencing any issues.

**Scheduled
Maintenance**



Serv
Tena

Region
ap-tokyo-1
ap-tokyo-1

Oracle Cloud Infrastructureに関するメール通知：

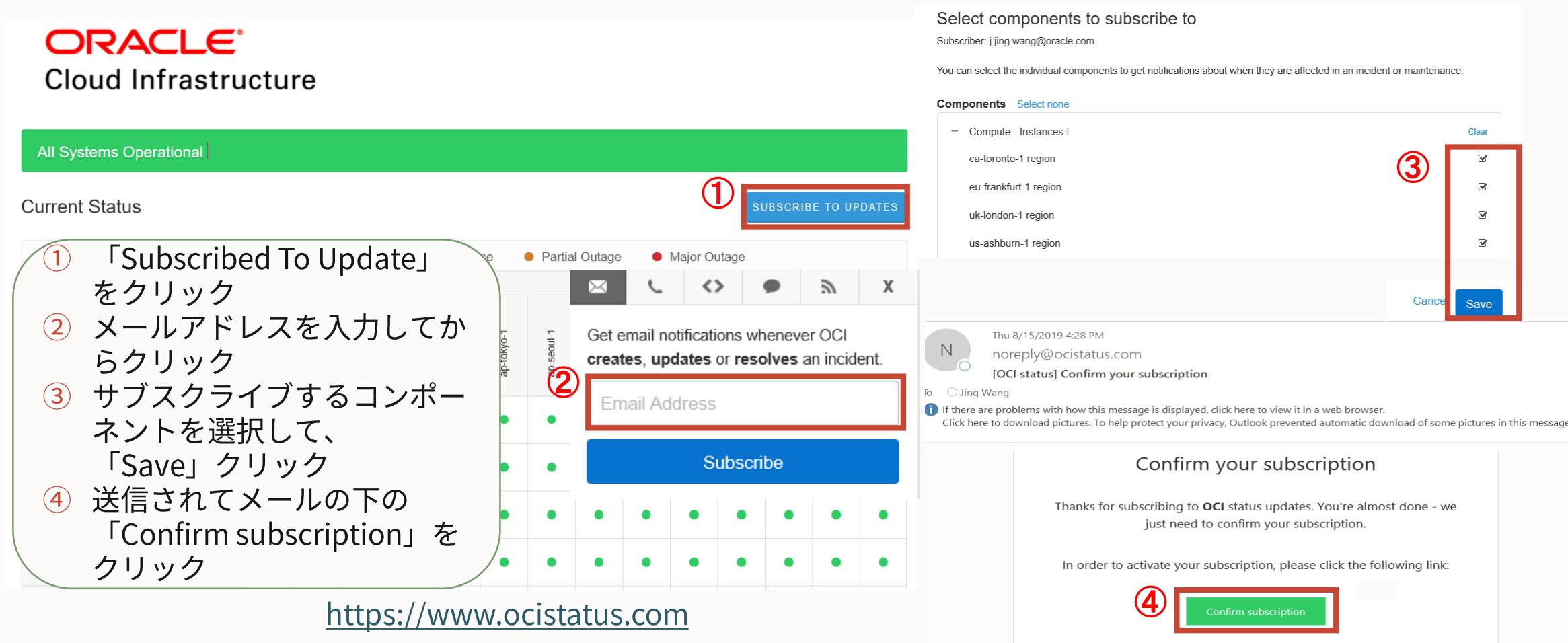
アクティベーション時に指定した管理者

※複数ユーザへの通知送付が必要な場合は、クラウドアカウントの管理者として、複数宛先を含むメーリングリストの登録をするようカスタマサポートに依頼して下さい。

Classicサービス、Oracle Platform Cloud Serviceに関するメール通知：**該当サービスの管理者**

Oracle Cloud からの通知 – メールによる通知(2/2)

Oracle Cloud Infrastructure のメンテナンスや計画停止に関するメールの一部は別途「noreply@ocistatus.com」よりメール通知されます。以下のページより購読の申込みを行います。



ORACLE
Cloud Infrastructure

All Systems Operational

Current Status

① 「Subscribed To Update」をクリック

② メールアドレスを入力してからクリック

③ サブスクライブするコンポーネントを選択して、「Save」をクリック

④ 送信されてメールの下の「Confirm subscription」をクリック

<https://www.ocistatus.com>

Select components to subscribe to
Subscriber: j.jing.wang@oracle.com

You can select the individual components to get notifications about when they are affected in an incident or maintenance.

Components [Select none](#)

- Compute - Instances
 - ca-toronto-1 region
 - eu-frankfurt-1 region
 - uk-london-1 region
 - us-ashburn-1 region

③

Save

Get email notifications whenever OCI creates, updates or resolves an incident.

②

Email Address

Subscribe

Confirm your subscription

Thanks for subscribing to OCI status updates. You're almost done - we just need to confirm your subscription.

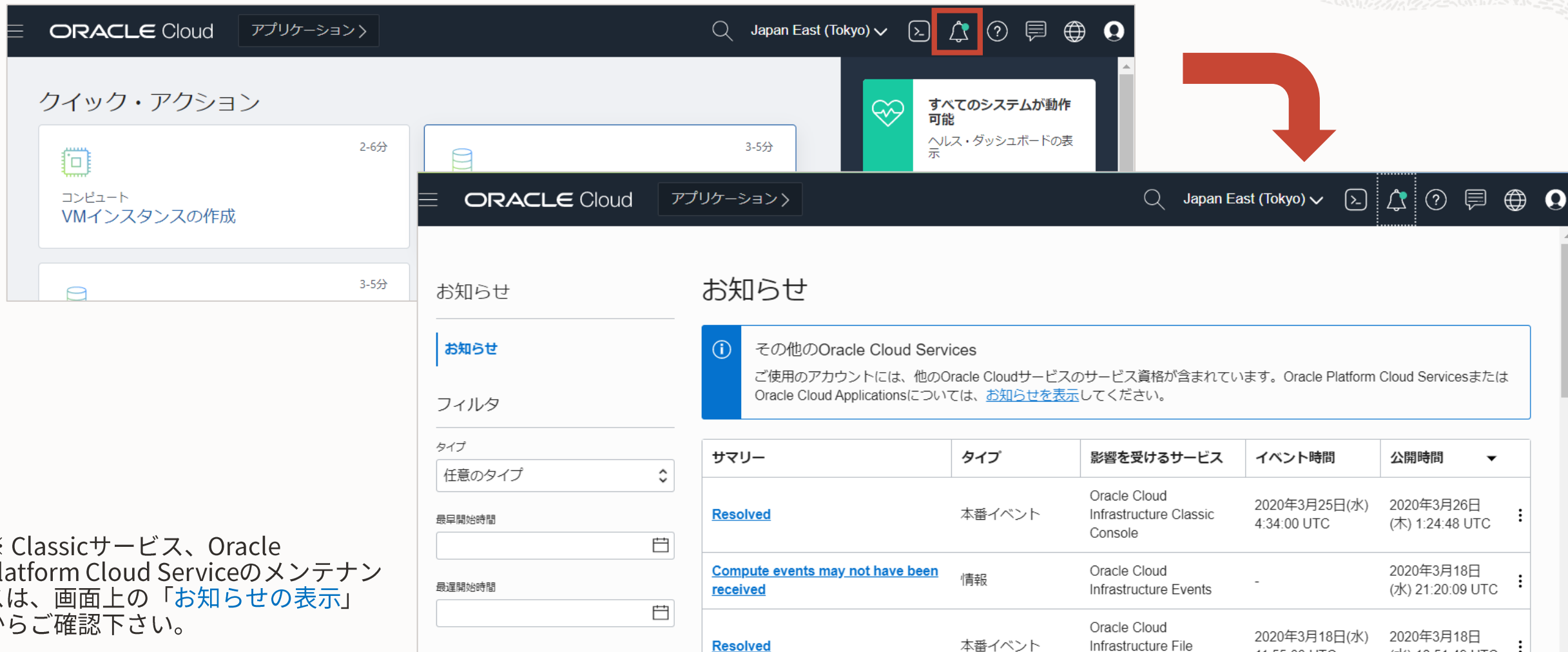
In order to activate your subscription, please click the following link:

④

Confirm subscription

Oracle Cloud からの通知 – ポータル画面

ご利用のサービスに関するお知らせは、OCIポータル画面からも確認できます。



The screenshot displays the Oracle Cloud portal interface. The top navigation bar includes the Oracle Cloud logo, a search bar, and a dropdown menu for 'Japan East (Tokyo)'. A notification icon (bell) is highlighted with a red box. A red arrow points from this icon to a detailed notification panel on the right. The notification panel shows a status 'すべてのシステムが動作可能' (All systems operational) and a message about system maintenance. Below the notification panel, a table lists various events.

サマリー	タイプ	影響を受けるサービス	イベント時間	公開時間
Resolved	本番イベント	Oracle Cloud Infrastructure Classic Console	2020年3月25日(水) 4:34:00 UTC	2020年3月26日(木) 1:24:48 UTC
Compute events may not have been received	情報	Oracle Cloud Infrastructure Events	-	2020年3月18日(水) 21:20:09 UTC
Resolved	本番イベント	Oracle Cloud Infrastructure File	2020年3月18日(水) 11:55:00 UTC	2020年3月18日(水) 12:51:10 UTC

※ Classicサービス、Oracle Platform Cloud Serviceのメンテナンスは、画面上の「[お知らせの表示](#)」からご確認下さい。

Oracle Cloud PaaS & IaaS 定期メンテナンス (1/2)

※詳細は My Oracle Support Knowledge の下記の情報をご確認下さい。
「Oracle Cloud Change Management Information ([Doc ID 1681146.2](#))」

- ほとんどのPaaS/IaaSクラウドサービスは特定のメンテナンス時間を持たず、多くは定期メンテナンス枠を必要としません。
- 計画停止時間を必要とするサービスについては[こちらのリンク](#)（メンテナンスカレンダー）を参照下さい。 ※次ページにてご紹介します。
- 定期メンテナンスを実施する場合は、1週間前までに通知メールを送信します。
- 開始時刻は、データセンター所在地の現地時間で、金曜日21時です。

Oracle Cloud PaaS & IaaS 定期メンテナンス (2/2)

Technology Cloud Services (PaaS and OCI) Maintenance Schedule ([Doc ID 2131053.2](#)) - My Oracle Support Knowledge -

Customer Schedule Maintenance Impact Details

Search This Document

Print

Customer Schedule

Maintenance Schedule

Jan-Feb-Mar

Apr-May-Jun

Oracle Cloud Maintenance Calendar

Oracle Cloud reserves specific maintenance periods for planned maintenance changes such as system and service maintenance activities and updates. These maintenance changes may require the Services to be unavailable or experience some other service impact. This article documents the standard maintenance period schedule through the remainder of the calendar year, along with the planned duration and details of the anticipated impact to the Services. This schedule is for planning purposes only and is subject to change at Oracle's discretion. For services that conduct maintenance activity once a quarter, the maintenance may be rescheduled to a different month within the same quarter. Note that Oracle Cloud may not conduct maintenance activities during every maintenance window, and that Oracle Cloud may require to schedule major updates and emergency maintenance separately from the published monthly maintenance schedule. Oracle will endeavor to provide advance notification to customers for any such scheduled other maintenance.

Note: The maintenance window will occur between 9:00 PM and 5:00 AM local data center time.

Service is Up. No impact on runtime. For other impact please refer to the Maintenance Impact Details tab

Service Interruption

No Maintenance Activity

Platform Services - Category 1

Week	6/Apr			4/May			1/Jun		
Platform Services - Category 1	Activity	Impact	Duration	Activity	Impact	Duration	Activity	Impact	Duration
Exadata Cloud Service	Patching		35 mins	Patching		35 mins	Patching		5-20 hrs

Platform Services - Category 2

Week	6/Apr			4/May			1/Jun		
Platform Services - Category 2	Activity	Impact	Duration	Activity	Impact	Duration	Activity	Impact	Duration
Process Cloud Service				Patching		25 mins			
Integration Cloud Service*				Patching		25 mins			
Mobile Cloud Service				Patching		30 mins			

①定期メンテナンス実施の有無を確認したい期間を指定

②定期メンテナンス実施の有無と影響度を確認できる

緑：起動中インスタンスに影響なし
赤：起動中インスタンスに影響あり

メンテナンスによる影響がないサービスについては、カレンダーに記載されません。



課金について押さえておきたいポイント

Oracle Cloud の購入モデル

いずれも単一のクレジット・プールで Oracle Cloud の全サービスをご利用できます。

Universal Credits – Monthly Flex

月額プリペイド・クレジット方式の従量制課金

- 月額プリペイド・クレジット額 x 利用月分（12ヶ月以上）を予め購入
- PAYGと比較して低い単価設定
- 利用したリソースの単価・分量・時間に応じてクレジット消費
- その月に使い切らなかったクレジット残金は失効

Universal Credits – Pay As You Go (PAYG)

プリペイド・クレジットなしの従量制課金

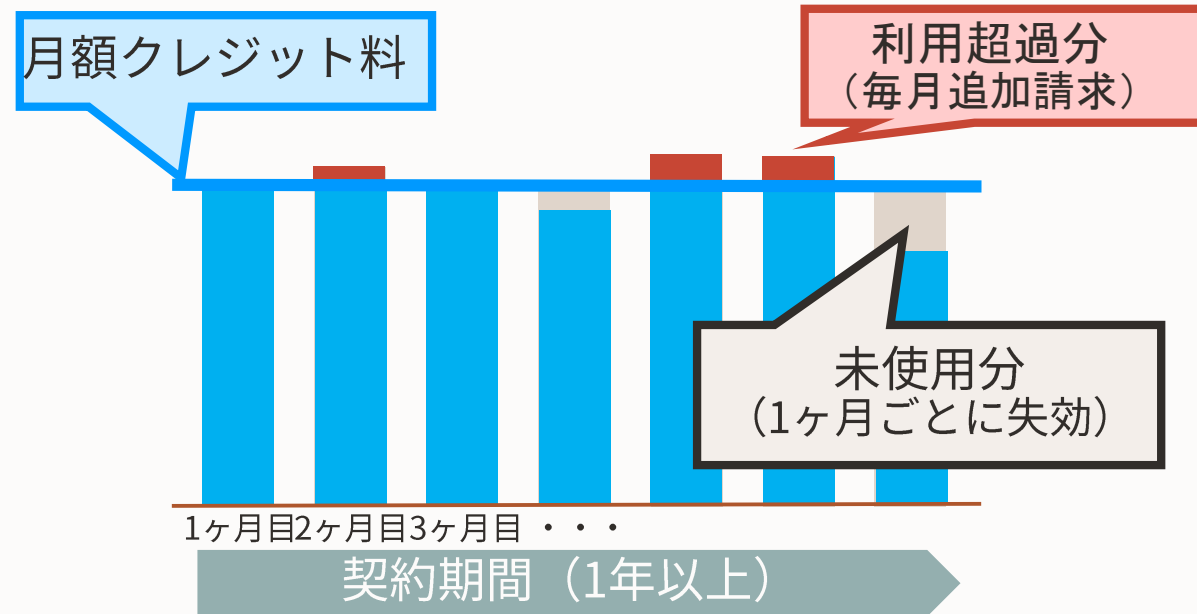
- 毎月ご利用分を後払い
- 利用したリソースの単価(定価)・分量・時間に応じて課金

Universal Credits — Monthly Flexの利用イメージ

プリペイド・クレジットから、Service Rate Card（契約時に規定した単価）に従い消費していきます。月額クレジット料を超えた分は後払いで追加請求されます。月額クレジット未使用分は1ヶ月毎に失効します。

クレジットの追加購入が可能です。契約期間終了時には、更新することが可能です。

毎月の利用イメージ



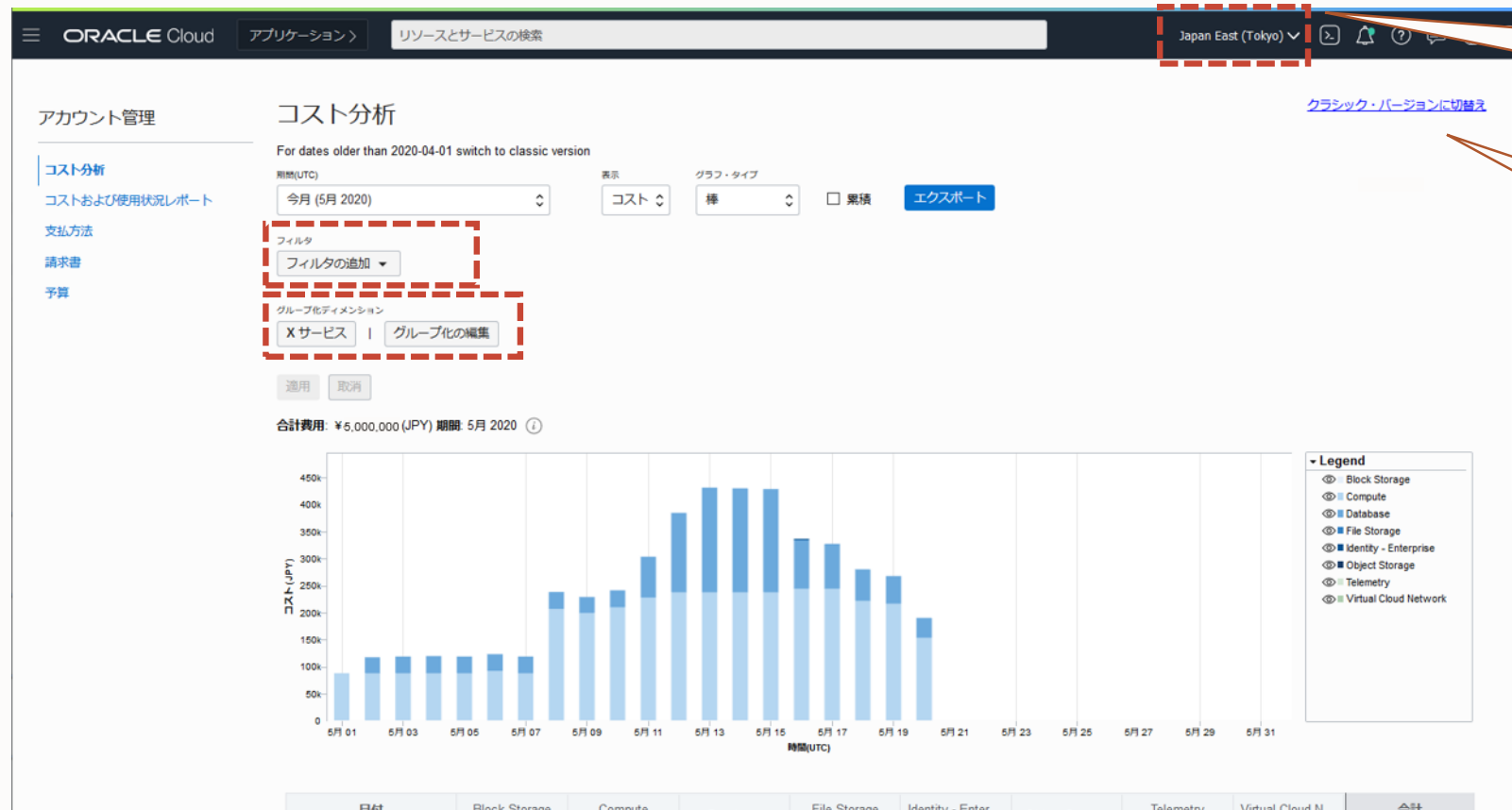
契約期間の開始日は契約ごとに異なります。1日開始ではありませんのでご注意ください。

月単位でクレジット額を目安にサービスを利用

Universal Credits – クレジットの確認方法 「コスト分析」

アカウント管理 -> コスト分析 から確認可能

- フィルタ：表示する範囲を設定（特定のコンパートメントやサービスなど）
- グループ化ディメンション：グラフの下段に表示される表の表示形式を設定



※ホーム・リージョンを選択しないと表示されません。

日付を指定してコストを確認したい場合は、クラシック・バージョンをご利用ください(次頁参照)。

Universal Credits – クレジットの確認方法「コスト分析」

アカウント管理 -> コスト分析 から確認可能

～クラシック・バージョン～

- 合計使用料金、サービスごとの使用金額が表示されます
- 開始日・終了日、コンパートメント名などを指定し、表示内容をフィルターできます

ORACLE Cloud アプリケーション >

Japan East (Tokyo)

アカウント管理 コスト分析

サブスクリプション・タイプ 月次フレックス サブスクリプション・タイプ 月次フレックス
請求サイクルの経過日数 7 / 31 現在の請求サイクルの経過日数 7 / 31

コスト分析

支払方法
請求書
予算
使用状況レポート

フィルタ

開始日 終了日 コンパートメント タグ・キー タグ値

2020年1月28日 2020年2月4日 コンパートメントによる タグによるフィルタ

フィルタの適用

2020年1月28日 - 2020年2月4日

合計使用料金
JP¥4,710.71

サービス	合計費用	合計費用トレンド(2020年1月28日 - 2020年2月4日)
> Block Storage	JP¥52.68	

※ホーム・リージョンを選択しないと表示されません。

Universal Credits — 消費のコントロールをしましょう！

クレジットを、計画的かつ効果的にご利用いただき、意図せぬ消費を防ぎましょう。

■ 予算アラート・ルールを設定し、クレジット消費量に従ってメール送信や追加リソースの利用を制限します。

→次頁 「予算アラート・ルールの設定」参照

■ 不要なリソースは停止または削除することでクレジット消費を抑制します。

■ クレジットの消費を完全に止めたい場合は、全てのリソースを削除します。

Universal Credits — 予算アラート・ルールの設定

OCI画面の アカウント管理>予算にて、
コンパートメント単位に予算アラート・ルールを設定し、メール送信が可能です。（右図参照）

ターゲットコンパートメント名: 予算を指定する対象のコンパートメント

月額予算額(\): 予算額 （例: 1000000）

しきい値メトリック: 実績 もしくは 予測金額を対象とするか

しきい値のタイプ: タイプを比率% もしくは 絶対金額とするかの指定

しきい値: アラートをあげる比率% もしくは 絶対金額の指定

電信メール受信者: メール送信対象のメールアドレス

電子・メールメッセージ: メールのメッセージの内容



名前	ターゲット・コンパートメント	金額	支出	期間内の%支出	予測 ①
CSM_Budget	CSM (コンパートメント)	¥ 0,000,000.00	¥ 074,793.19	12.69%	¥ 8,955,517.39
Administrator Budget	Administrator	¥ 10,000,000.00	¥ 358,477.31	3.58%	¥ 632,607.03
OracleCSM Budget	OracleCSM	¥ 1,000,000.00	¥ 1,802,845.18	180.28%	¥ 3,181,491.50

予算作成後の確認画面



予算の作成

名前
CSM_Budget
名前には英数字、ダッシュ、ピリオドおよびアンダースコアのみを使用できます。

ターゲット・コンパートメント (L)
OracleCSM
roc02 (ルート)OracleCSM

月次予算金額(¥)
1000000
最小許容値は ¥ 1.00 で、最大許容値は ¥ 999,999,999.999.00 です。

予算アラート・ルール(オプション)

予算アラート・ルールを今すぐ設定することも、後で追加することもできます。同じ予算に複数のアラートを設定できます。

しきい値メトリック (L)
☒ 実績支出 ☐ 予測支出

しきい値のタイプ (L)
☒ 予算の比率 ☐ 絶対金額

しきい値%
70

電子メール受信者
ayami.misawa@oracle.com

アラートを受信する電子メール・アドレスを1つ以上入力します。複数のアドレスは、カンマ、セミコロン、スペース、タブまたは改行で区切ることができます。

電子メール・メッセージ
しきい値の70%を超過しました。利用クレジットをご確認下さい。

電子メール・メッセージの本文の入力

予算作成画面



Universal Credits — 予算アラート・ルールの設定

前ページの設定を行うと、以下の通りのアラート・メールが送信されます。

N

2019/06/17 (月) 11:46
noreply@usage.us-ashburn-1.oci.oraclecloud.com
OracleCSM-budget budget spending exceeded 70% of actual

宛先

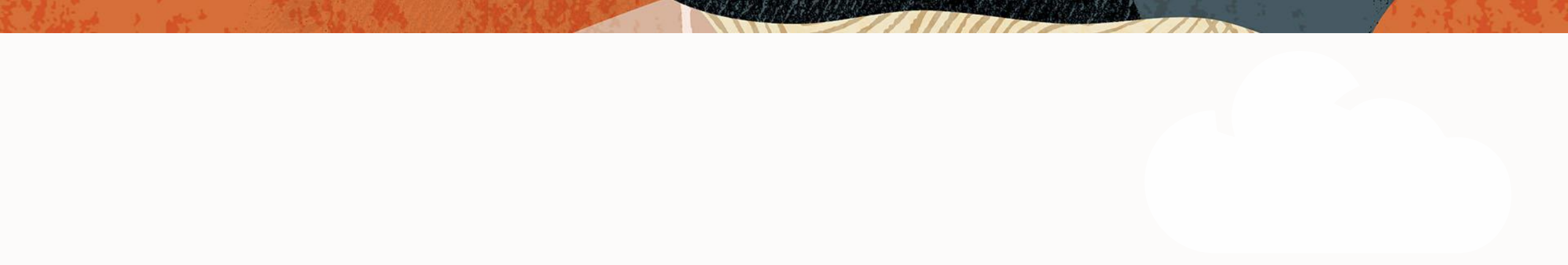
ORACLE Cloud

Scope:	COMPARTMENT
Target:	OracleCSM
Budget:	OracleCSM-budget
Monthly budget:	JPY1,000,000.00
Alert Type:	Actual
Threshold:	70%
Spend in cycle:	JPY1,790,322.40
Forecast:	JPY3,159,392.46
Time in cycle:	17 / 30 days

Message from your administrator 予算の70%を超過しました。利用クレジットをご確認下さい。

Copyright ©2019, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.
Oracle Corporation - Worldwide Headquarters, 500 Oracle Parkway, Redwood Shores, CA 94065, United States

About Oracle | Legal Notices and Terms of Use | Privacy Statement



よくあるお問い合わせ

クラウドアカウント管理ユーザの作成手順（1）

Infrastructure Classicコンソールに遷移して、クラウド・アカウントを管理するユーザの作成や管理が行うことができます。

The screenshot displays the Oracle Cloud console interface. At the top, the header shows 'ORACLE Cloud' and 'アプリケーション' (Applications). The main content area is divided into 'クイック・アクション' (Quick Actions) and 'ソリューション' (Solutions). The 'クイック・アクション' section contains six cards for various cloud services, each with an icon and a duration. The 'ソリューション' section features four cards with images and text describing different use cases. On the right side, a user profile dropdown menu is open, showing options like 'プロフィール', 'デナンシ', 'サービス・ユーザー・コンソール' (highlighted with a red dashed box), and 'サインアウト'. Below this, there are sections for 'ユーザー管理' (User Management), '請求' (Billing), and '最新情報' (Latest News).

ORACLE Cloud アプリケーション

US East (Ashburn)

クイック・アクション

- 2-6分 コンピュート VMインスタンスの作成
- 3-5分 AUTONOMOUS TRANSACTION PROCESSING データベースの作成
- 3-5分 AUTONOMOUS DATA WAREHOUSE データ・ウェアハウスの作成
- 1-3分 ネットワーキング 仮想クラウド・ネットワークの作成
- 2-6分 オブジェクト・ストレージ データの格納
- 2-3分 ネットワーキング・ソリューション IPsec VPN接続の作成

ソリューション

- Oracleおよびサード・パーティのソフトウェアをマーケットプレイスからデプロイ
- PeopleSoft検証済ソフトウェア・アーキテクチャの評価
- カスタム・アプリケーションをOracle Cloudに移行
- 常に無料のリソースを使用して、3層のWebアプリケーションをデプロイします。

プロフィール

- oracleidentitycloudservice/
- デナンシ
- サービス・ユーザー・コンソール
- サインアウト

ユーザー管理

- デナンシへのユーザーの追加

請求

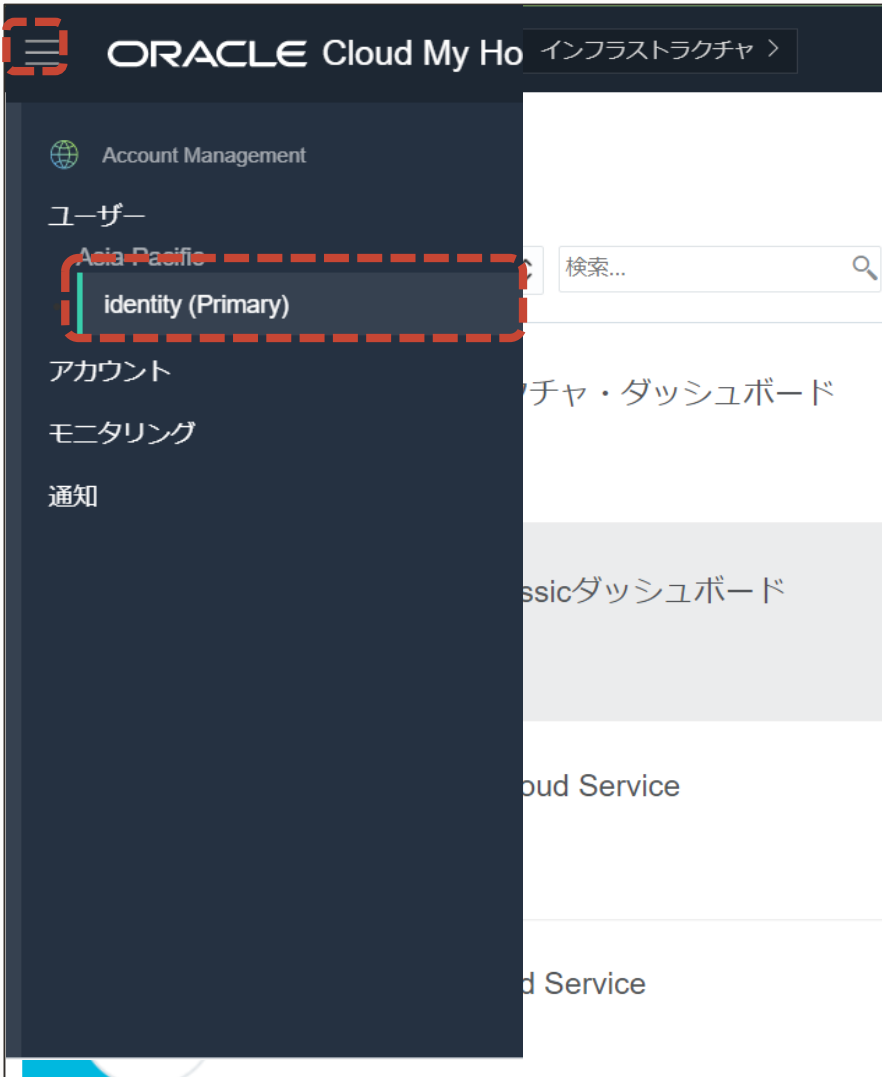
- コストの分析
- 支払方法の管理

最新情報

- 無料の層のお知らせ: アカウントの有効期間中は、常に無料のリソースを無料で使用できます
- 2019年9月16日
- コンソール体験の強化でIaaS、PaaS、SaaSを統合
- 2019年9月9日
- Oracle Functionsは一般に使用可能になり、イベント駆動のワークロードに推奨されます
- 2019年7月31日
- Oracle Cloud Infrastructureイベントは一般に使用可能になり、リソース状態の変化に対応するのに役立ちます

クラウドアカウント管理ユーザの作成手順（2）

①



ORACLE Cloud My Home インフラストラクチャ >

Account Management

ユーザー

Asia-Pacific

identity (Primary)

アカウント

モニタリング

通知

検索...

②



ORACLE Cloud インフラストラクチャ >

ユーザー管理

アイデンティティ・コンソール

ユーザー グループ マイ・プロフィール

検索

ソート基準 姓(昇順)

追加

MH YK SM KO

① ユーザー -> ユーザーを追加したいリージョンの identity を選択

② ユーザー管理ページにて「追加」をクリック

クラウドアカウント管理ユーザの作成手順（3）

ORACLE Cloud インフラストラクチャ

ユーザーの追加

< 取消

ユーザーの詳細 サービス・アクセス

③ 次

ユーザー名が指定されている場合を除き、サインインには電子メール・アドレスを使用します。

ユーザー情報 ①

* 名

ミドル・ネーム

* 姓

②

* 電子メール

☒ 電子メールをユーザー名として使用

* ユーザー名

代替電子メール

モバイル番号

勤務先情報

タイトル

勤務先電話番号

「ユーザーの追加」のページにて

- ① 名・姓を入力
- ② 電子メールを入力
- ③ 「次」ボタンをクリック

クラウドアカウント管理ユーザの作成手順（４）

ユーザーの追加

このツールを使用して、ユーザーへのサービス資格の付与およびまたはインスタンスへのアクセス権の付与を行います。

① マイ・ロールの追加 ② 終了

① 管理ロールの追加

Identity Cloud サービス資格

Analytics サービス資格

「ユーザーの追加」のページにて

- ① 「マイ・ロールの追加」または「管理ロールの追加」を選択
- ② 「終了」ボタンをクリック

新規追加されたユーザーにメールが送付されます。

「管理ロールの追加」をクリックすると、すべてのサービスへの管理権限や、ユーザーの追加などができる管理権限が付与されます。

「マイ・ロールの追加」の場合は、ユーザを追加している管理者と同じ権限が割り当てられます。

サービスごとに権限を管理したい場合は、それぞれのサービスのテキストボックスを選択すると必要な権限を選択できます。

※ 権限の反映までに少し時間がかかることがあります

クラウドアカウント管理ユーザの作成手順（5）

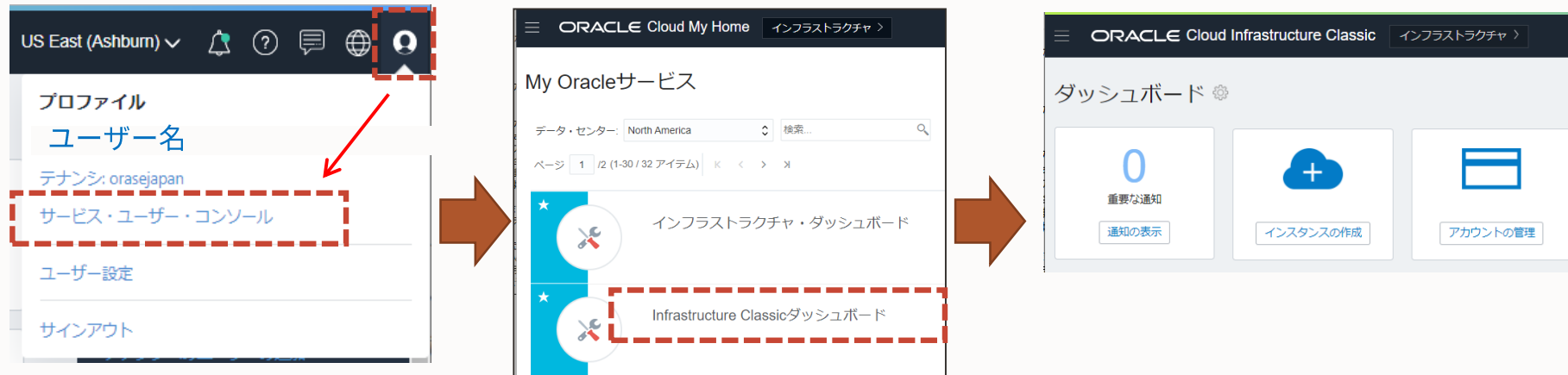
管理者は OCI_Administratorsグループに自動的に追加されます。

The screenshot shows the Oracle Cloud Identity Console interface. On the left, the 'ユーザー管理' (User Management) section is visible, with the 'グループ' (Group) tab selected. A red dashed box labeled '1' highlights the 'OCI_Administrators' group in the list. On the right, the 'OCI_Administrators' group page is shown, with the 'ユーザー' (User) tab selected. A red dashed box labeled '2' highlights the 'ユーザー' tab. Below this, a red dashed box labeled '3' highlights a list of users, including 'MH', 'YK', 'SM', and 'KO'. A green rounded rectangle contains the following numbered steps:

- ① ユーザー管理画面にて、グループタブに表示されているOCI Administratorsグループをクリック
- ② OCI_Administrators画面にて、ユーザータブをクリック
- ③ 追加した管理者ユーザーが表示されます

コンソールの切り替え

OCIコンソール右上のタブから、OCI-Classicサービスを管理する Infrastructure Classicコンソールへ遷移できます。



ユーザーのアイコンから、サービス・ユーザー・コンソールを選択

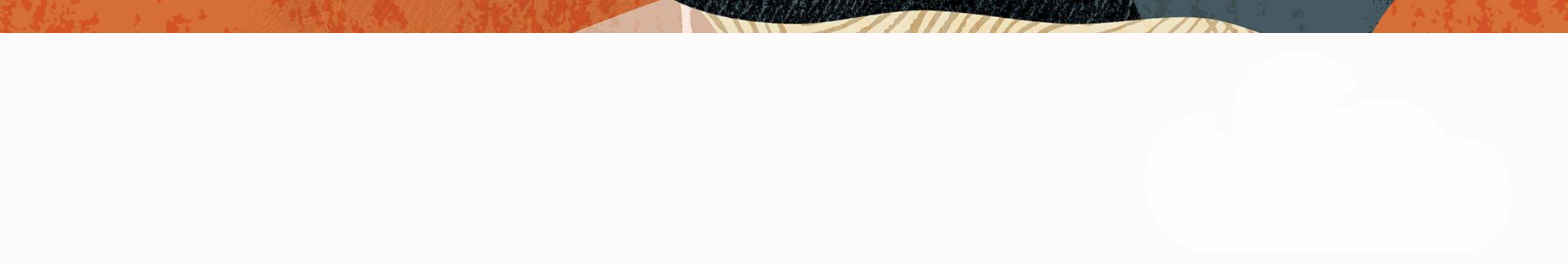
※ ホームリージョンを選択してください

Infrastructure Classic ダッシュボードを選択すると、マイサービス・ダッシュボードが表示されます。
※一部の環境では「アプリケーションダッシュボード」と表示されますので、そちらを選択します。

契約期間とサービスのキャンセル

Oracle Cloud サービスの契約終了およびキャンセルは、ご契約の形態によって以下の通りとなります。

契約の形態	Universal Credits Monthly Flex	Universal Credits Pay As You Go
契約期間の終了	契約終了日にクレジットが失効し、 PAYG課金に自動的に切り替わる。 契約期間終了後もサービスは継続	契約期間という概念がなく キャンセルするまでサービスは継続
環境の削除	ご利用環境を削除する場合は、担当の営業またはCSMに連絡	



Oracle Cloud 参考資料ご案内

Oracle Cloud– 各種参考資料 (1)

■ Oracle Help Center（オンラインマニュアル）：

※ 最新情報については英語版をご確認ください。

- Oracle Cloud サービスのドキュメント（全体）

<https://docs.cloud.oracle.com/ja-jp/iaas/Content/home.htm>

※サイトの右上の ボタンを押すと、言語指定ができます。

- Platform as a Service (PaaS)のドキュメント

https://docs.oracle.com/cd/E83857_01/paas/index.html（日本語）

<https://docs.oracle.com/en/cloud/paas/index.html>（英語）

- Infrastructure as a Service (IaaS) のドキュメント

https://docs.oracle.com/cd/E83857_01/iaas/index.html（日本語）

<https://docs.oracle.com/en/cloud/iaas/index.html>（英語）

Oracle Cloud- 各種参考資料 (2)

■ 公開文書：

- Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう - チュートリアル集（日本語）

<https://community.oracle.com/docs/DOC-1019313>

Oracle Cloud 公式ブログの文書

チュートリアル : Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう

バージョン 47

mmarukaw-Oracle が 2017/11/01 5:13 に作成。Tkonishi-Oracle が 2019/11/01 8:11 に変更。

このドキュメントは Oracle Cloud Infrastructure (OCI) を使ってという人のためのチュートリアル集です。各項ごとに画面ショットなどを交えながらステップ・バイ・ステップで作業を進めて、OCIの機能についてひととおり学習することができますようになっています。

また、こちらのチュートリアルのうち、初級編を元にしたハンズオンセミナーも定期開催しています。
イベントカレンダーにてご案内しますので、ご興味のある方はぜひ [こちら](#) を定期的にご確認ください。

準備 - Oracle Cloud の無料トライアルを申し込む

Oracle Cloud 無料トライアルを申し込む

Oracle Cloud のほとんどのサービスが利用できるトライアル環境を取得することができます。このチュートリアルの内容を試すのに必要になりますので、まずは取得してみましょう。
※取得には認証用のSMSが受け取ることができる電話と、有効なクレジット・カードのご登録が必要です(希望しない限り課金はされませんのでご安心を!!)

- [Oracle Cloud 無料トライアル サインアップガイド](#)
- [Oracle Cloud 無料トライアルに関するよくある質問\(FAQ\)](#)

チュートリアル初級編 - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう

OCIコンソールにアクセスして基本を理解する - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう(その1)

まずはコンソールにアクセスしてみましょう。そしてリージョン、アベイラビリティ・ドメイン、コンパートメント、ポリシー(ACL)、サービス・リミットなどのOCIの基本的なコンセプトについて学びます。

クラウドに仮想ネットワーク(VCN)を作る - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう(その2)

クラウドの最初の一步は、クラウド上に皆さん専用のネットワーク(VCN)を作るところから始まります。難しい作業は必要ありません。まずはやってみましょう!!

着信リンク

- Web Application Firewall(WAF)を使って Webサーバを保護する - Oracle Cloud Infrastructure アドバンスド
- Web Application Firewall(WAF)を使って Webサーバを保護する - Oracle Cloud Infrastructure アドバンスド
- ファイルストレージサービス(FSS)で共有ネットワークボリュームを利用する - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう(その6)
- ファイルストレージサービス(FSS)で共有ネットワークボリュームを利用する - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう(その6)
- インスタンス・プールのオートスケーリングを設定する - Oracle Cloud Infrastructure アドバンスド
- インスタンス・プールのオートスケーリングを設定する - Oracle Cloud Infrastructure アドバンスド



Oracle Cloud(PaaS/IaaS)：セミナー情報一覧

https://blogs.oracle.com/oracle4engineer/column_cloud_seminar

 オラクルエンジニア通信 - 技術資料、マニュアル、セミナー



オラクルエンジニア通信では、オンプレミスからクラウドまで、オラクルテクノロジーの最新情報をお届けします

[Try Oracle Cloud Platform For Free](#)

2.コラム

January 7, 2020



Oracle Cloud(PaaS/IaaS)：セミナー情報

 Yusuke Yamamoto

- 日本オラクル：イベント一覧 | パートナー様向けイベント

開催日	タイトル	対象サービス
2020年1月31日(金) 18:45～20:30	Oracle Database Technology Night (東京)	Database
2020年1月31日(金) 14:00～17:00	実践Kubernetesハンズオン～OKEでKubernetesを体験しよう～ (東京)	Oracle Container Engine for Kubernetes
2020年1月28日(火) 13:00～17:00	Oracle Cloud Infrastructure ハンズオン (東京)	Oracle Cloud Infrastructure

Oracle Cloud(PaaS/IaaS)：サービス更新情報

<https://community.oracle.com/groups/oracle-cloud-japan-blog>

Go Directly To ▾ Log in | Register 

 Oracle Cloud 公式ブログ ▾

Overview Content People Actions ▾ About

Log in to follow, share, and participate in this socialgroup.

最近の投稿

 **Oracle Cloud PaaS & IaaS：2020年2月度サービス情報アップデート**
in Oracle Cloud 公式ブログ

Posted by Yusuke Yamamoto-Oracle Feb 17, 2020

2020年2月のOracle Cloud PaaS & IaaSのサービスアップデート概要  です。
各サービスの詳細なアップデート情報は、各サービス毎のドキュメント(What's New)をご覧ください。

- [Cloud Documentation\(英語版：最新情報はこちらをご覧ください\)](#) 
- [クラウドのドキュメント\(日本語版\)](#) 
- [What's New for Oracle Autonomous Data Warehouse](#) 
- [What's New for Oracle Autonomous Transaction Processing](#) 
- [Oracle Cloud Infrastructure > Release Notes](#) 

人気のコンテンツ

-  チュートリアル：Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう
-  Oracle Cloud Infrastructure 活用資料集
-  OCIコンソールにアクセスして基本を理解する - Oracle Cloud Infrastructureを使ってみよう(その1)
-  クラウドに仮想ネットワーク(VCN)を作る - Oracle Cloud Infrastructureを使ってみよう(その2)
-  Oracle Cloud Platform：ご利用ガイド（使い始めていただく方へ） /Onboarding Session

カテゴリー



Oracle Cloud オンボーディングサイト



- ユーザー管理ってどうしたらいいの？
- 課金の仕組みは？
- サポートサービスを利用したい！
- 初心者向けのドキュメントは？

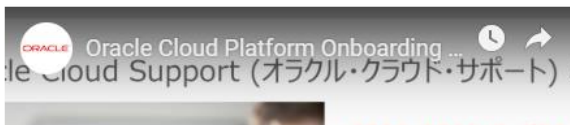
■ Oracle Cloud Platform : ご利用ガイド (使い始めてい

btamari-Oracle が 2018/12/07 6:00 に作成。 btamari-Oracle が 2019/03/31 0:49 に変更。

Oracle Cloud Platform をご利用いただく際に使用する Oracle Cloud Portal の使い方をはじめとして、運用ポリシーやこの内容は新規ご契約のお客様を対象としたOnboarding Sessionとして、定期的にセミナー開催を行っています。

参加ご希望の方は弊社営業担当までご連絡ください。

2019年3月31日現在の情報



初めてOracle Cloudをご利用になる お客様を支援する情報を掲載

■ Oracle Cloud サービスのご案内

Oracle Cloud のサービス開始、ログイン、ユーザ管理、ポリシー、課金などガイド

■ オラクルクラウドのサポートガイド

Oracle Cloud Supportポータルの利用ユーザー登録・管理や、SR起票方法のガイド

上記の説明資料と動画を公開中

<https://community.oracle.com/docs/DOC-1028379>

Oracle Cloud Learning Subscription for PaaS/OCI

クラウドのスキル習得をいつでも何度でも。

Oracle Cloud Learning Subscription はオラクルのクラウドの概要からクラウド・アプリケーションの開発・デプロイ・運用管理のための知識まで実際のクラウド環境を使いながら目的に合わせて学習することができるオンライン・トレーニングです。3つの Cloud Learning Subscription で Oracle Cloud を体系的に学習することができます。



Oracle Cloud **Infrastructure** Learning Subscription

Oracle Cloud Infrastructure Security Management



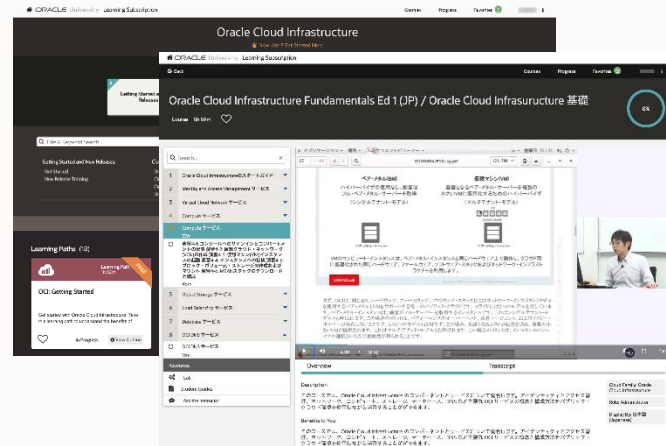
Oracle **Data Management** Cloud Services Learning Subscription

Data Management Autonomous Database Data Integration Business Analysis



Oracle **Application Development** Cloud Services Learning Subscription

Application Development Content and Experience Application Integration



定価:

各 **395,340** 円 (税込)

1ユーザー/1年間利用可能

* OPN PartnerNetwork会員様はパートナー向け価格でご購入いただけます。



いつでも学べる

1年間の定額サブスクリプション形式の
オンライントレーニングなので
必要な時にいつでも追加費用なしで受講可能



クラウド環境を実際に使える

学習した内容はコースごとに用意された
クラウド環境でいつでも確認可能



包括的なカリキュラム

学習者の目的に合わせたラーニングパスで
概要から高度なトピックまで体系的に学習可能
3つの Cloud Learning Subscription で 39 の
PaaS/OCI サービスに幅広く対応



アップデートにも対応

クラウド・サービスのアップデートに
あわせて学習コンテンツを更新

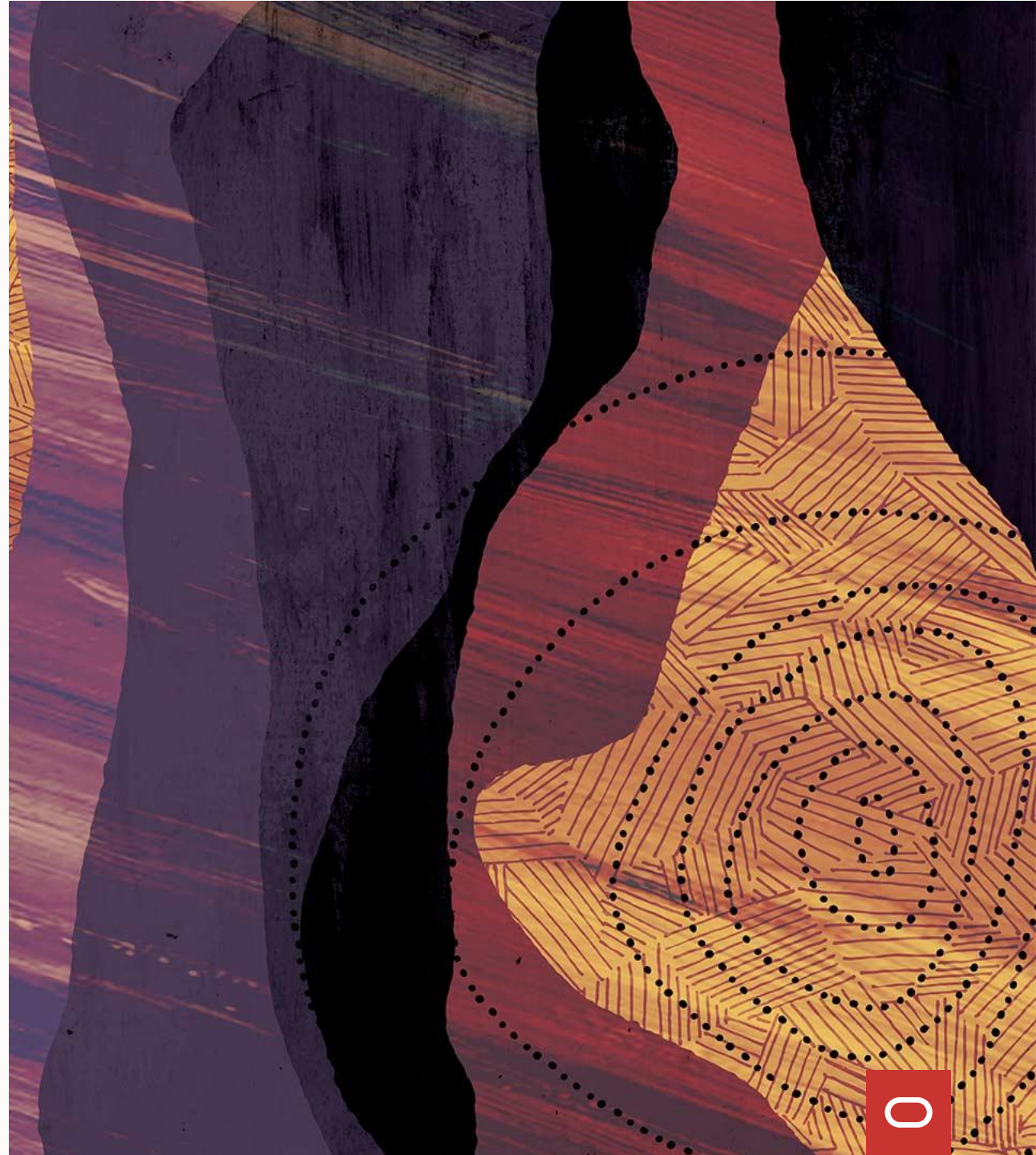


認定資格試験対応

PaaS/OCI 認定資格試験対応
資格試験の受験準備にも最適



Thank you



The Oracle logo is displayed in a bold, red, sans-serif typeface. The letters are closely spaced and have a modern, slightly geometric feel. The logo is centered horizontally on the page.

ORACLE